村山 渉
Wataru Murayama
デザート・コーラル
2

BLADE COMICS

Desert Coral
デザート・コーラル
2

村山
Wataru Murayama
渉

Mag GARDEN

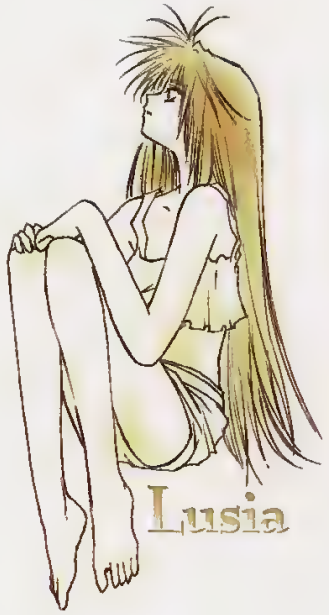
9784901926386
ISBN4-901926-38-1
C9979 ¥552E (0)
1929979005528
雑誌53930-28
定価：本体552円＋税
マッグガーデン

Comment

Wataru Murayama

村山 渉

ずっと座ってばかりの仕事のため、
たまには散歩しようかと外に出たら、
新年早々、すっ転んでしまいました。
道端の、しかも何にも無いところで。



# 村山 渉

Wataru Murayama

デザート・コーラル

2

BLADE COMICS

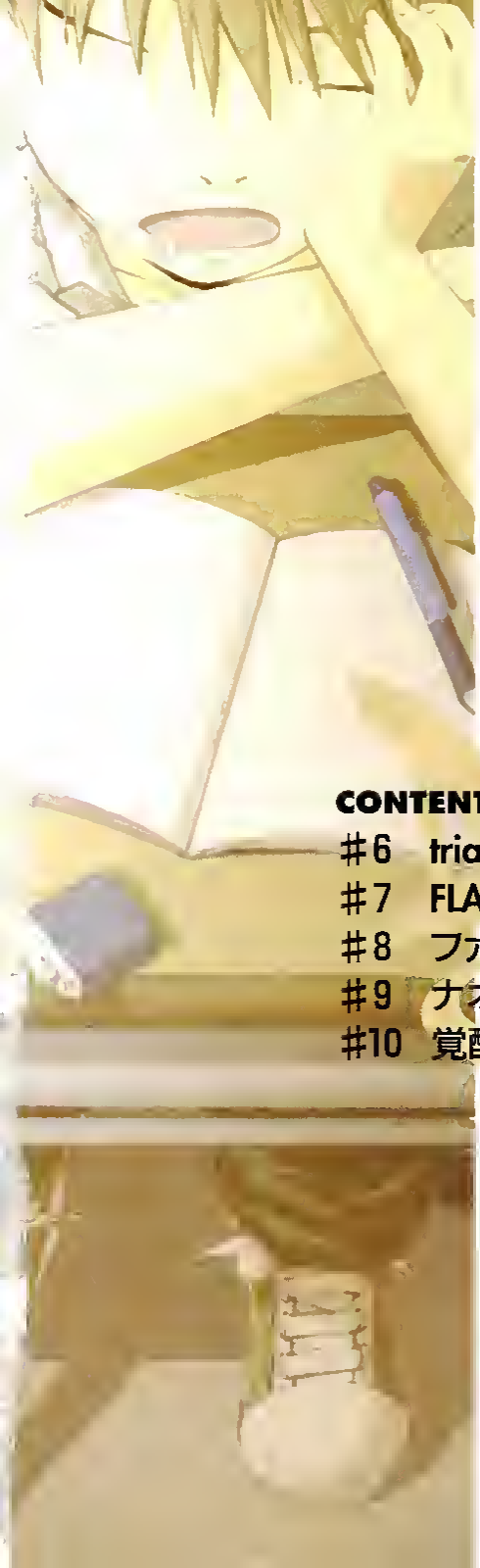
デザート・コーラル 2

村山 渉

Wataru Murayama

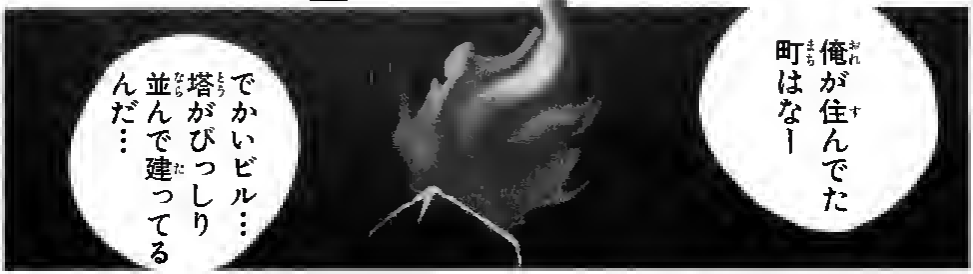
Mag GARDEN

Desert
村山渉
デザート・コーラル
2



CONTENTS

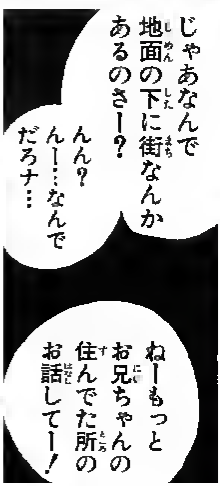

#6 trial of flame ——— 3
#7 FLAME ——— 35
#8 ファイアーボール ——— 71
#9 ナオトのちから ——— 105
#10 覚醒 ——— 141


俺が住んでた町はなー
でかいビル…塔がびっしり並んで建ってるんだ…

で
その地面の下にはトンネルがまたびっしり掘られてて…

ぼく知ってるよ！
地面の下に街とかあるんだ
太陽の光を嫌う種族でしょ

ははよく知ってるな
でも別に光を嫌ってるわけじゃないけどナ


じゃあなんで地面の下に街なんかあるのさー？
んん？
んー…なんでだろナ…
ねーもっとお兄ちゃんの住んでた所のお話してー！

おう 俺の住んでたとこは島国でサ
島国ってわかるカナ
そうだな～
おまえら海なんて見たことないんだろうな～

# #6
# trial of flame

……
なに？
今？
一瞬…
どーしたの？
！
いや
なんでもない
この感じ…
…エルフィス？
まさかな…
ゴオオオ!!

その場所を知る者はなく
その歴史を語る者はなく

それはただ
それがこの世界の全てであるかのように
そこに存在していた

さまざまな種族・言語・風習が入り混じり
ただ唯一の秩序は
日は昇りまた沈みゆくこと そして
弱い者は強い者に屈し
ひれ伏して生きてゆくことのみ

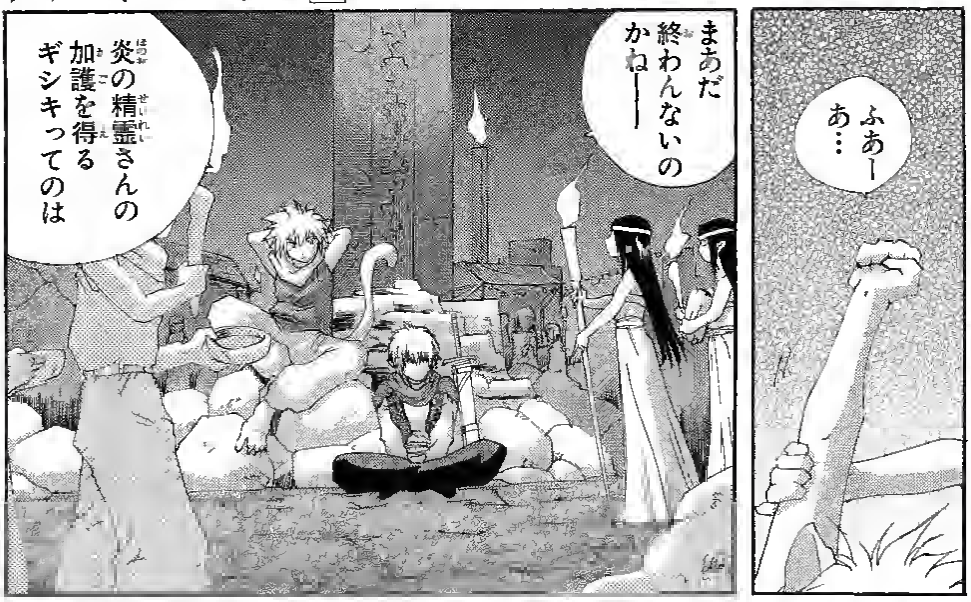
それはまるで
混沌を詰めた
箱

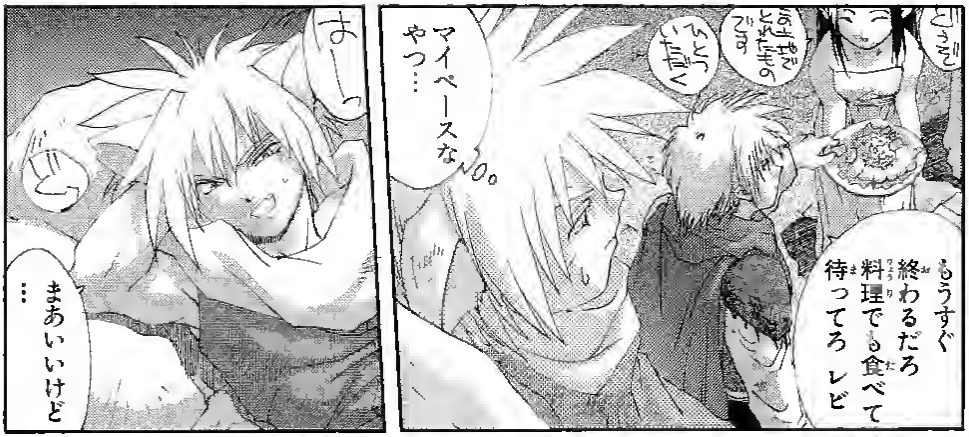
最果ての砂漠に
存在する箱の名は
オルゴス

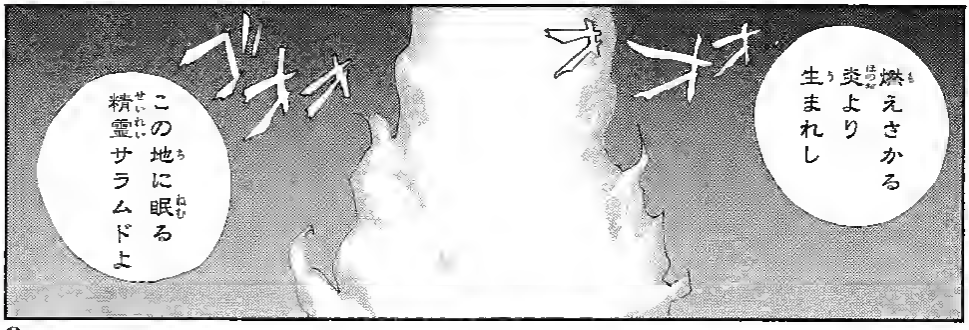
オルゴス上層部に住む
長命の種族を
エルフィス

オルゴス最下部地帯
オルゴスの陰に隠れ
その混沌の中を生きる
様々な種族を総称して
サンドダストという

今ここに
オルゴスの混沌の
箱を開け——


ふあー
あ…
まあだ
終わんないの
かねー
炎の精霊さんの
加護を得る
ギシキってのは


もうすぐ
終わるだろ
料理でも食べて
待ってろ レビ
いただきまーす
マイペースな
やつ…
おー
まあいいけど
…

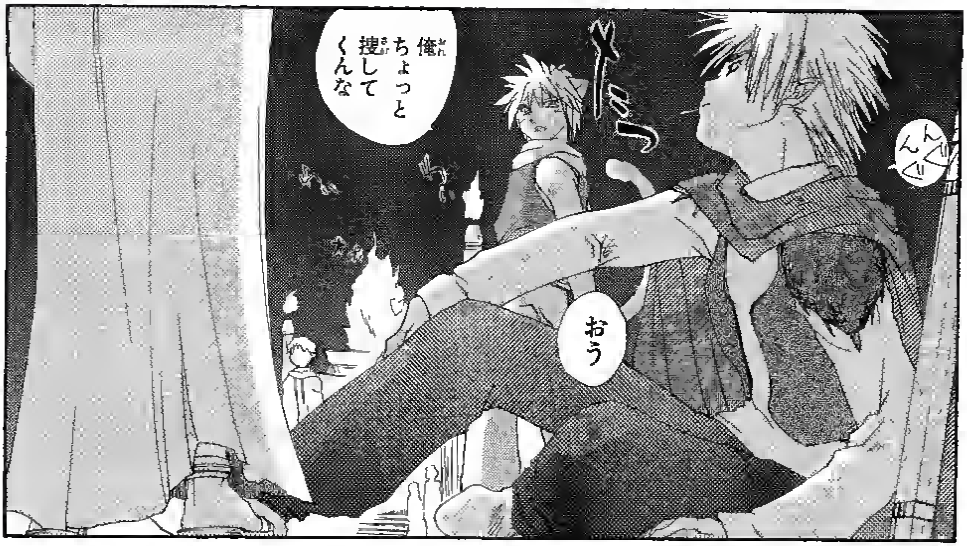

燃えさかる
炎より
生まれし
この地に眠る
精霊サラムドよ
ゴオオ
ゴオオ

汝の安らかなる
眠りを覚ますは
我なり
我 古の智を
持ちて
汝と契りを結ぶ
ものなり

古の智は
すべての移り
変わりを
見つめ

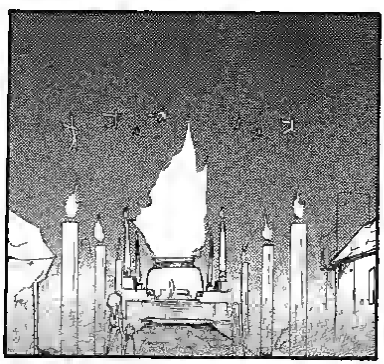
その智によりて
汝は眠りより目覚め
ここに呼び出されるものなり…
……

……
……
ん？
……
まだ！
あいつ
……
そういえば
他のみんなは
どうした？
カミューと
ユーロと…
あいつ！
もぐ
もぐ
ん
うまい
知らん
ぱく
ぱく
ぱく
ぱく
ぜんぜん
不安そうじゃ
ないぞ それ
カミューの姿が
見えないって
のは不安だな


んん
おう
俺ちょっと捜してくんな

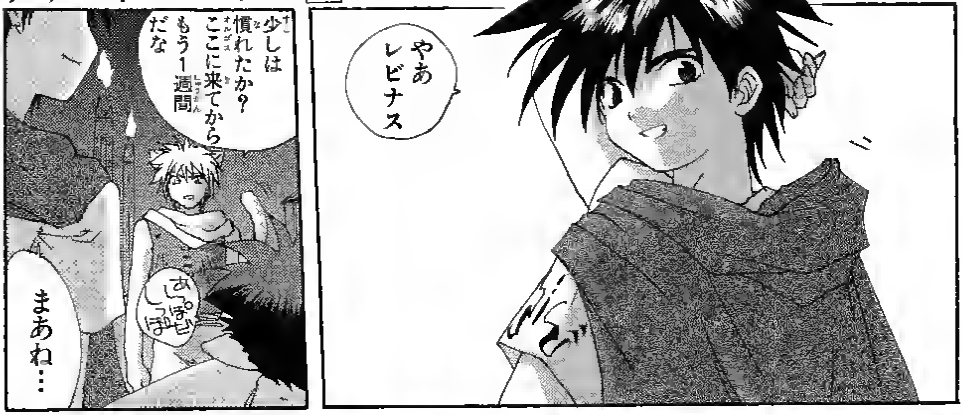
ルシア…

……
そら



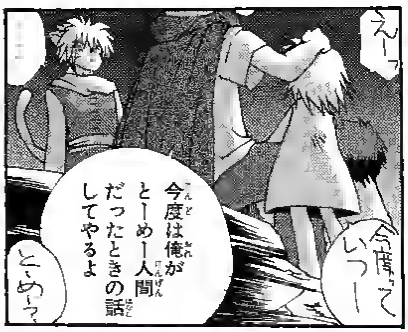
よお
どうだい調子は
ナオトめけ

でな！空には竜のかわりにひこーきってのが飛んでるんだ！
ゆい
ゆい
家が金持ちなやつはこれで海外旅行にいく
カイがイヤ
なに食べる
どこー


やあ
レビナス
少しは慣れたか？
ここに来てからもう1週間だな
まあね…

でも慣れるっていうか…
俺はこっちの世界の方が馴染みが深いのかも…
ふうん？
俺が前に居た世界よりもね

おはは
よしよし
ぽんぽん
う――ん
よく寝てたからな～
授業中とか…
ねーもうお話おわりー
ああまた今度な――


えー
今度って
いつー
今度は俺がとーめー人間だったときの話してやるよ
とーめー？

なあナオト
俺もその話きいてみたいな
お前が居た世界の話も

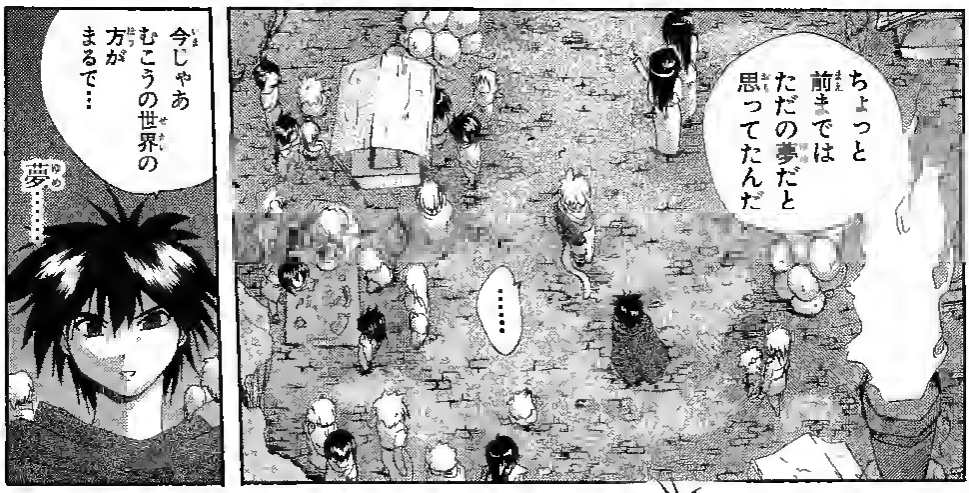
うーん
たぶん信じて
くれないと
思うけど…
たぶん
俺の体は
むこうの世界に
おきっぱなし
なんだ…
今はルシアの力の
おかげで
こっちの世界で
実体化してる
けどね…
ちょっと前までは
実体がなくて
周りからは見えない
とーめー人間
だったのサ

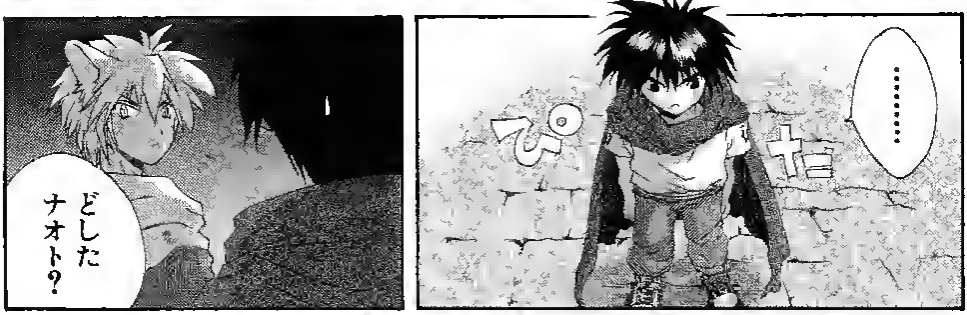
信じる
よ

信じて
くれなくて
いいよ

ぼかん

ここに来てからもう1週間か…
ずっとこっちに居っぱなしだな 俺…
現実世界じゃあたおれっぱなしなのかなぁ…
大変なことになってるぞきっと…


ちょっと前まではただの夢だと思ってたんだ
……
今じゃあむこうの世界の方がまるで…
夢……


……
どしたナオト?

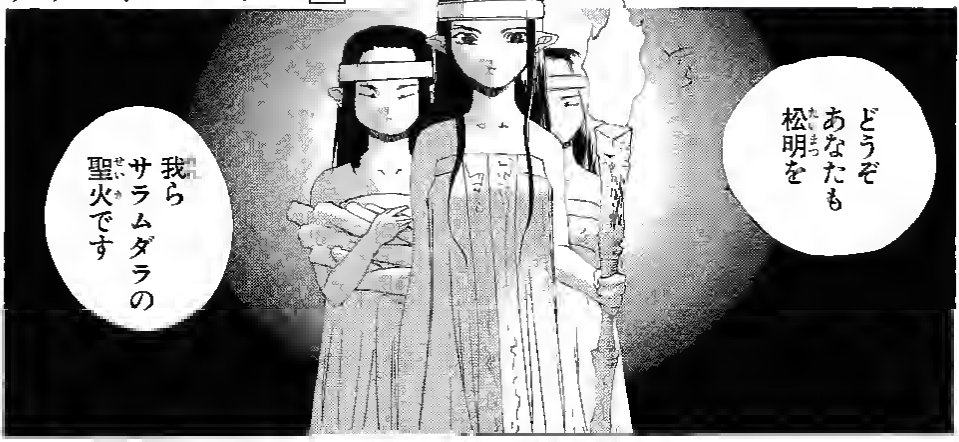
なんでもないッ
お俺ほんとにこのままずっと帰れなかったらどうしよ…
ピキーこの世界はおしまいだぁ…!

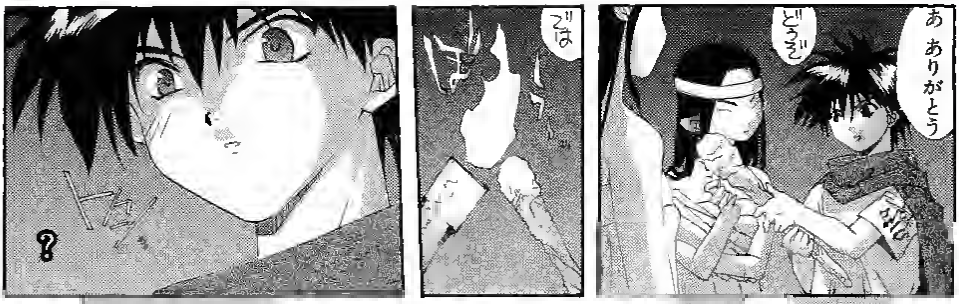
俺 このまま
デザートコーラルで
やっていくことに
なるんだろうか
どうなっちゃうん
だろう
俺は……

ようこそ
炎使い
サラムダラの町
サラムドへ

でも…

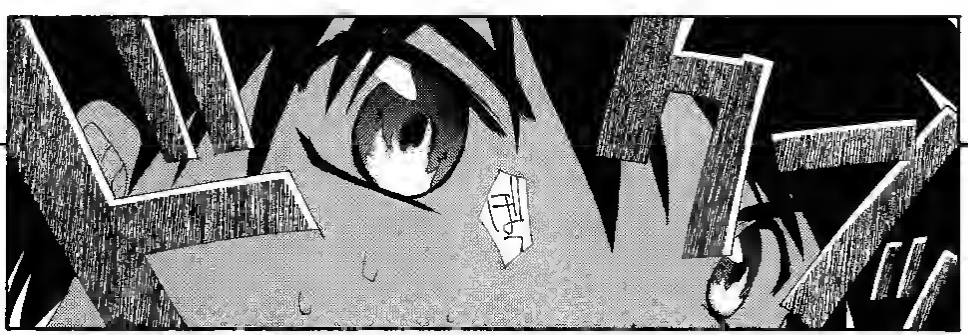
……
まっこれは
考えても
しょうがない
種類の問題だ
もうなるように
しかならん
開きなおるか


どうぞ
あなたも
松明を
我ら
サラムダラの
聖火です


あ ありがとう
どうぞ
ぽ
?

に…
この世界の
全てのものには
意味があるの
です
あなたがここに
居るのも偶然では
ありません
すべてには
なにかしら
意味があり
そして役割が…

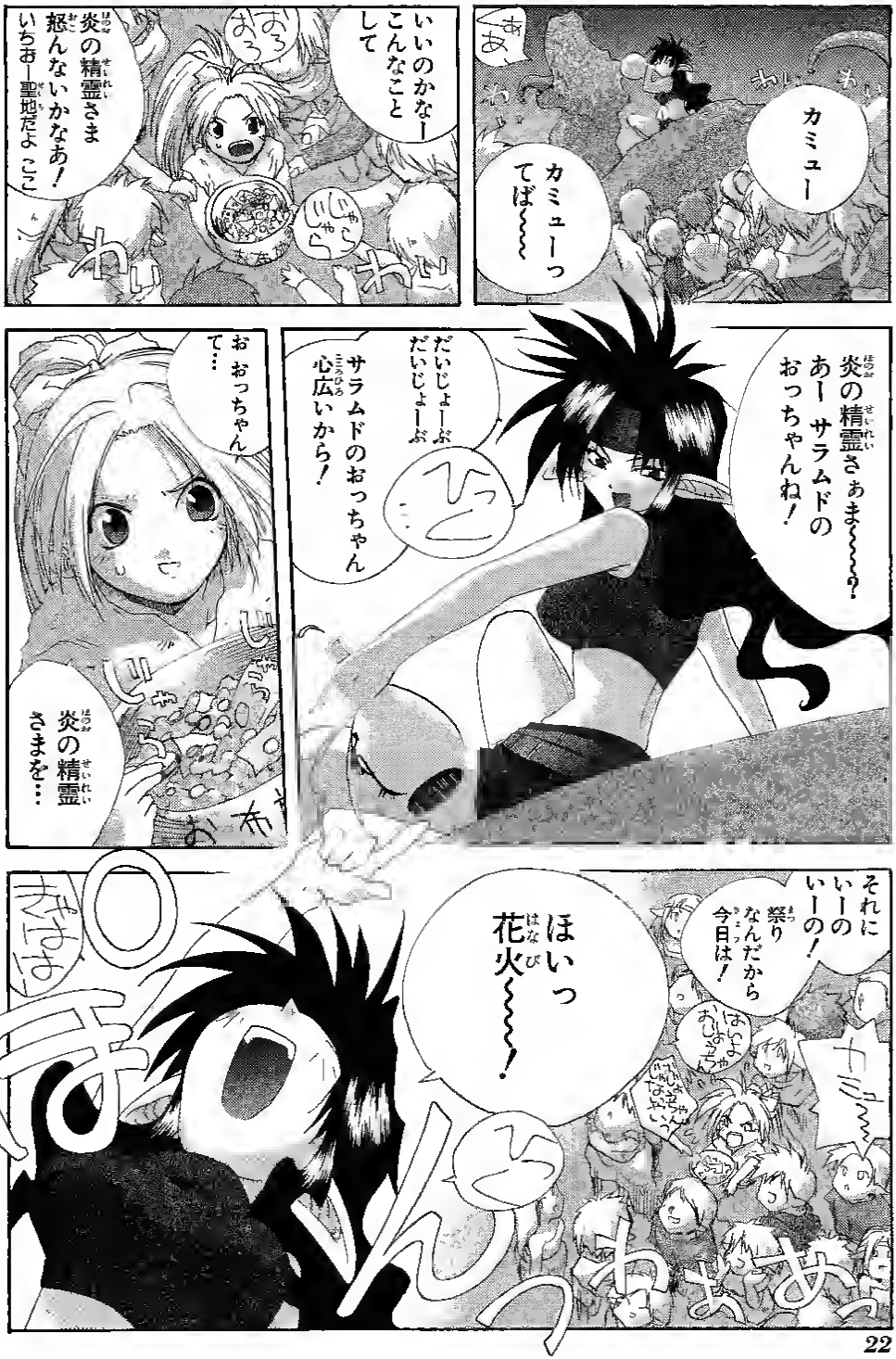
汝の魂に
炎の祝福を
!?
自らの内に炎を
持つ者を中心に
世界は廻る…
!!!
たとえこの世界が
幻であっても
たとえこの世界が
誰かの見ている夢で
あったとしても



おい
どーしたんだってばナオト
大丈夫かよ？
……
あれ…？
今(いま)のは…!?
ドクン
？
トクン トクン
それにしてもカミューとユーロはどこ行ったんだかなあ！
……
あ
ああ…
ここ…
ほんとに大丈夫か？
なんだったんだ…？
!?
ナオト

ぽん
ぽんっ
さー
よってらっさい
みてらっさい
あ
あっ
わぁ
ぐぴっ
ぐぴっ

ばんっ
世にもめずらしい
酒飲み火炎竜
だよ――っ
あぁ
見たやつあ
お代ちゃんと
もらうから
ね――っ
ばんっ
おぉぉぉ――っ
金ない
やつあ
酒おいて
きなッ

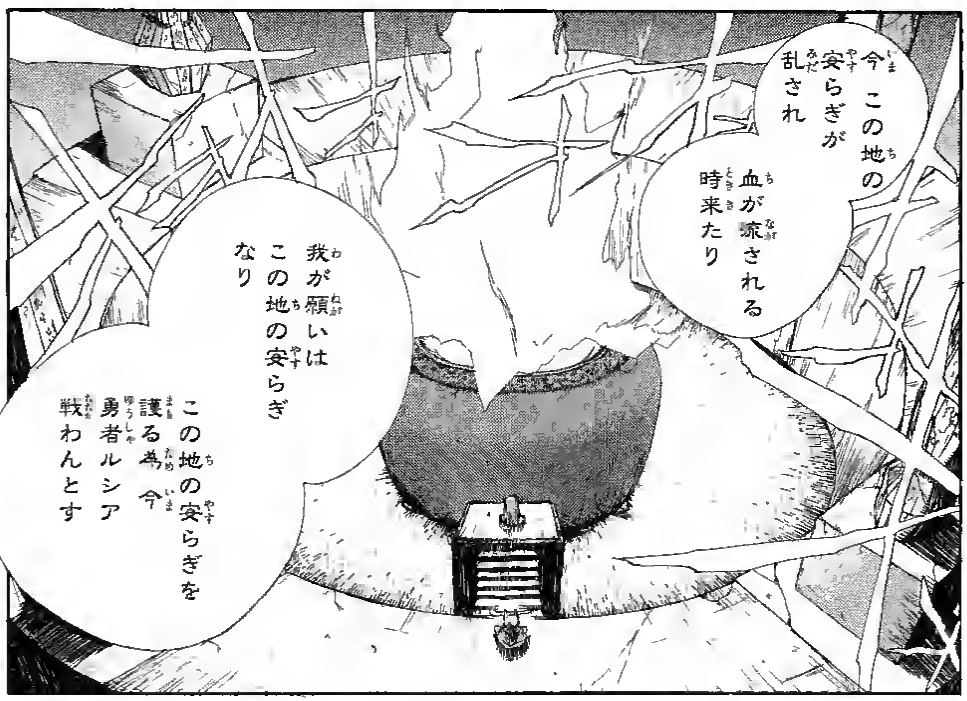

カミューってば～～～
カミュー
あぁ
いいのかなーこんなことして
炎の精霊さま怒んないかなあ！
いちおー聖地だよ ここ
おろおろ
じゃらじゃら
炎の精霊さぁま～～～？
あーサラムドのおっちゃんね！
だいじょーぶだいじょーぶ
サラムドのおっちゃん心広いから！
ひっこ
おおっちゃんて…
炎の精霊さまを…
それにいーのいーの！
祭りなんだから今日は！
ほいっ花火～～～！
ぽぽぽぽぽ
ぽぽぽぽぽ

あやっぱりカミュー…
どーしたんだこのさわぎは…
今度はなにやってんだあの人…
ぽぽん
ぽーぽぽぽぽ!
……
ぎゃわ…
……
黒い炎…?
ぼっ
ぽんっ
おおおっ
おーっ
きさかな…

よっ竜使いの
ねーちゃんっ
おもしろいものを
見させてもらったぜ！
こいつぁ
そのお礼だー！
うちの
秘蔵の
酒だッ
うけ
とれ～
ぽしっ
キャッチ！
しっかり
うけとったわっ
ありがとー！
…ん！
これは…
そうとう古い
酒瓶ね――
精霊が住み
ついてるわ～
わいわい
なんだ!!
なんだ!!
今度は
何が始まるんだ？
嫌な予感…
じ
…

ふふん♪
この酒瓶に住みます この精霊〜〜っ
どんっ
どんな精霊かと言いますとォ！
くぁ〜
古より伝わる酒瓶に宿りし精霊よ——！
汝の虜になりたき者ここに来たれり！
おいでぃ♪

汝の妙なる力によりて妖幻の世界へ誘えーっ
はんだ
ア
うひっく!
?
あ なんか いい気持ちイ〜〜〜〜?

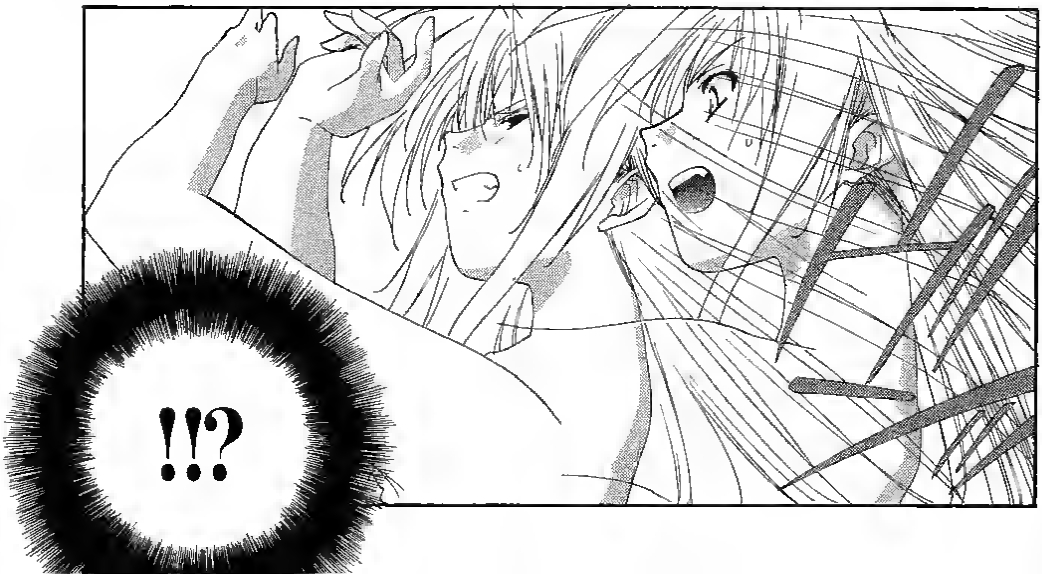

今 この地の安らぎが乱され
血が流される時来たり
我が願いはこの地の安らぎなり
この地の安らぎを護る為 今勇者ルシア戦わんとす

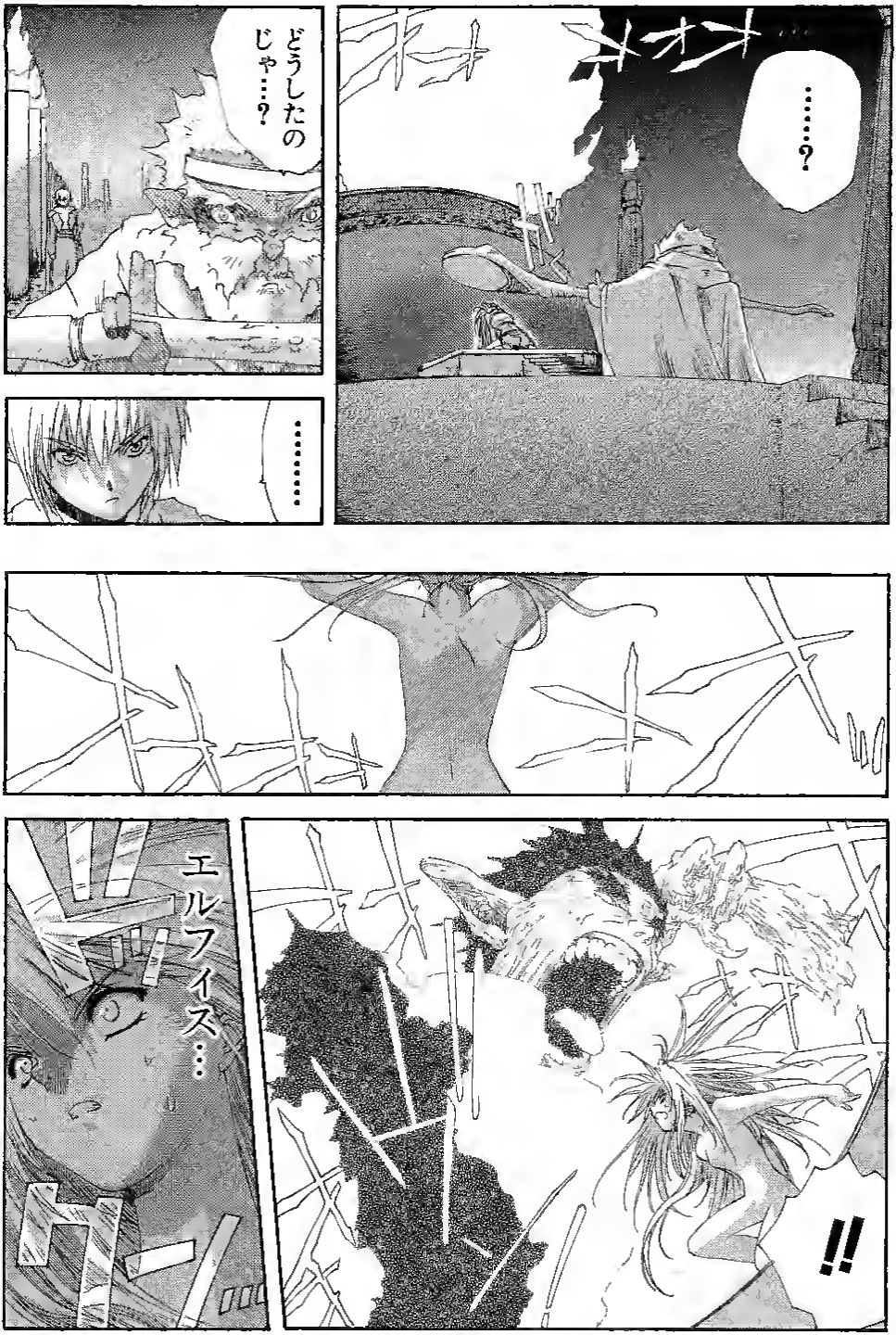
炎の精霊サラムドよ
願わくば汝勇者ルシアの力となれ！
！

我が願い
聞き届けられし
ときは
勇者ルシアと
ともに我 この地を
全力をもちいて
護らんとす

勇者ルシアに
炎の祝福を！
体が
熱い……!!

呪われし種
ルカヴィフェイトの子よ
今より汝に
試練与えん
これを克服せしとき
我が力 汝に与えん
だがこの試練に
打ち負かされしとき
我が業火の炎
汝の弱き心 喰らいつくさん
覚悟は良いな!!


!!?


どうしたのじゃ…？
……？
……
エルフィス…
!!

はあッ
はあッ

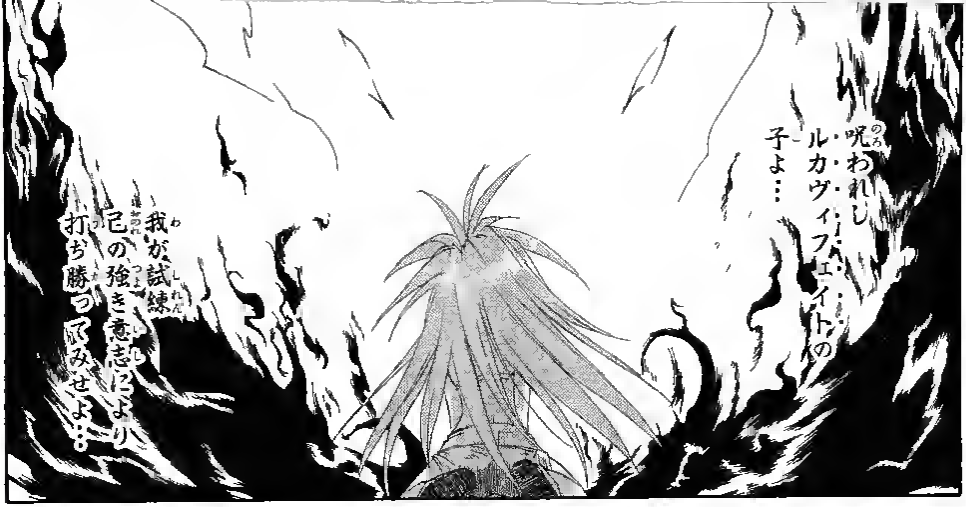
黒い炎…！
邪陽が出現した!?どういうことじゃ
ルシア!!
ニらっ 待て 儀式へ 最中だ!!
待て！
司祭！
これは試練なのかもしれぬ

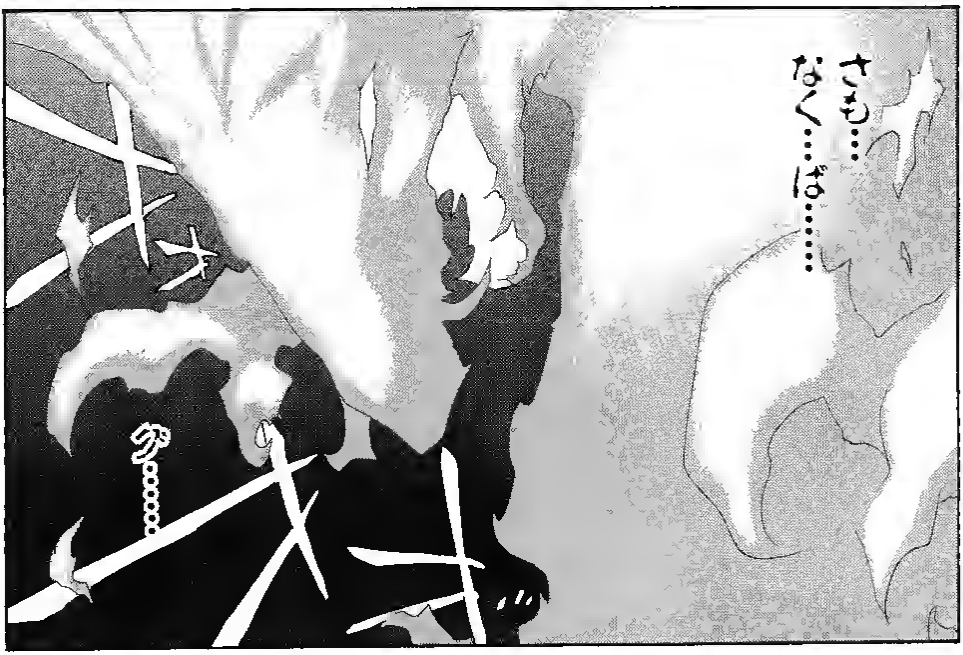
これに打ち勝てば炎の精霊サラムドの力を得られるのじゃ!!
じゃが それに負ければ その身は討ち滅ぼされるかもしれぬ……
……
だっ 大丈夫じゃ 心配するでない!
……
我は炎の精霊サラムドの加護を受けた炎使いサラムダラの一族!
いざというときは わしがなんとかする!!
はあ
はあ
……
ルシア…

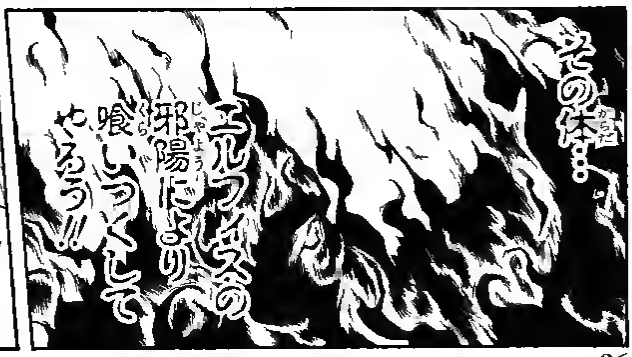
のみこまれる――!!
はあッ
はあッ

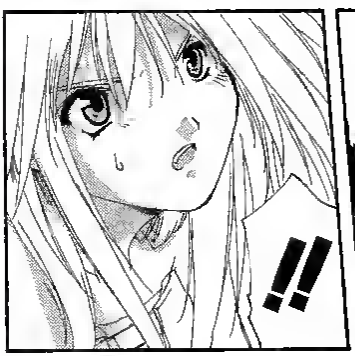
!!
邪陽がいっそう激しく…!!
やはりこの邪悪な炎はサラムドのものではない…まさか…!
エルフィスの……!?
おいっサラムダラの司祭!
本当に大丈夫なんだろうな!!
だ…ダメかも
ばりっ
うわはははは♪
とりんちゃん♪
まつりだまつりだ――っ
あはは――
のめのめ
あは♪
なにげに失敗♪術をかける対象いれるの忘れてた……♪
あはははは♪
ううう…

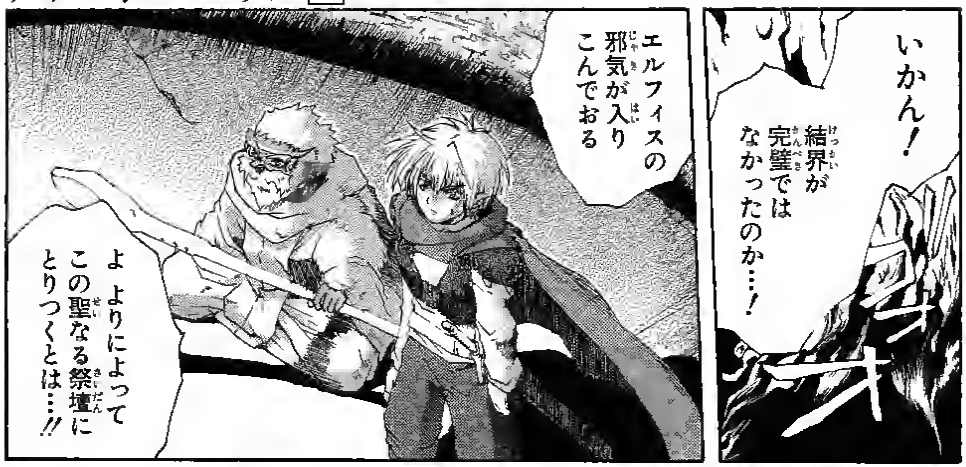
# ＃7　FLAME（フレイム）


呪われし
ルカヴィフェイトの
子よ…
我が試練
己の強き意志により
打ち勝つてみせよ…

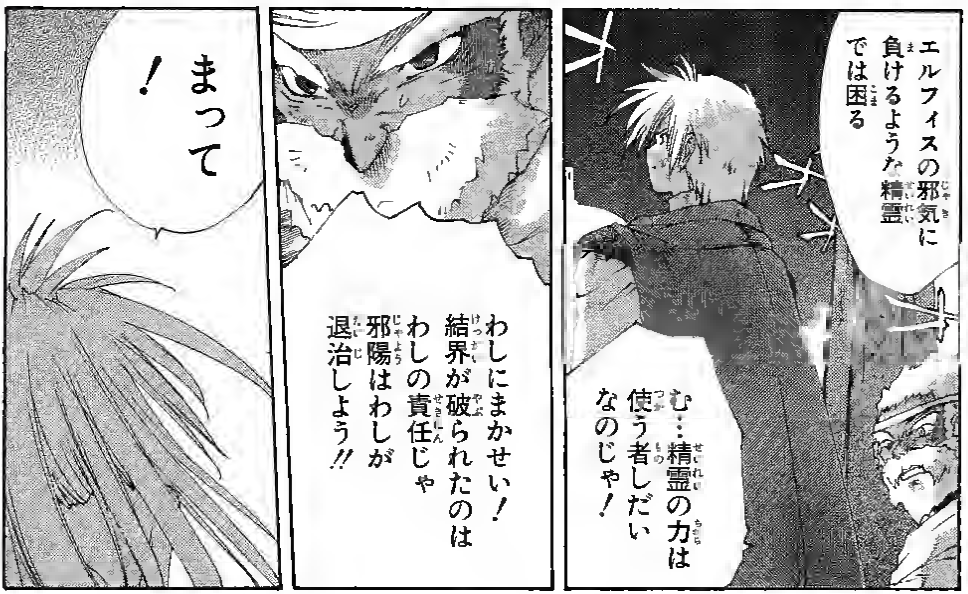

さも…
なく…ば……
ク……
キオ

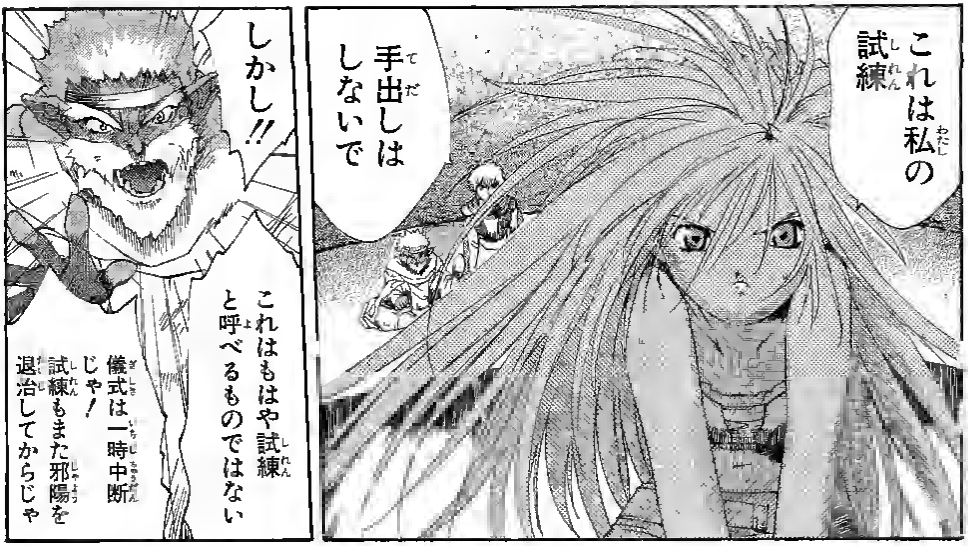

その体…
エルフィスの
邪陽により
喰いつくしてやろう!!


!!


いかん！
結界が完璧ではなかったのか…！
エルフィスの邪気が入りこんでおる
よりによってこの聖なる祭壇にとりつくとは…!!

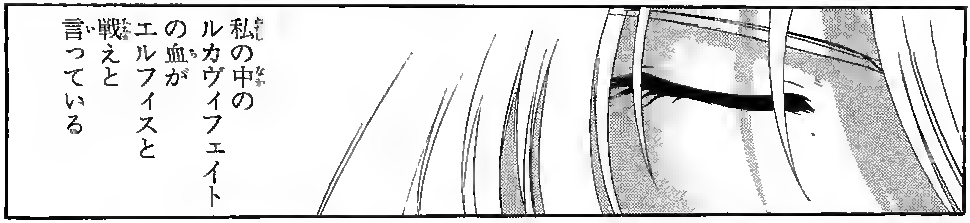
エルフィスの邪気がサラムドの炎にとりついて邪陽が発生したというわけか…


エルフィスの邪気に負けるような精霊では困る
む…精霊の力は使う者しだいなのじゃ！
わしにまかせい！結界が破られたのはわしの責任じゃ邪陽はわしが退治しよう!!
まって！


これは私の試練
手出しはしないで
しかし!!
これはもはや試練と呼べるものではない
儀式は一時中断じゃ!
試練もまた邪陽を退治してからじゃ

大丈夫

な…
!?
な なにを!
こら はなさんか!!
ルシアが 大丈夫と 言うなら
大丈夫だ
私には使命がある


私の中のルカヴィフェイトの血がエルフィスと戦えと言っている

私はエルフィスと戦う
私の中のルカヴィフェイトの血がエルフィスを殺せと言っている

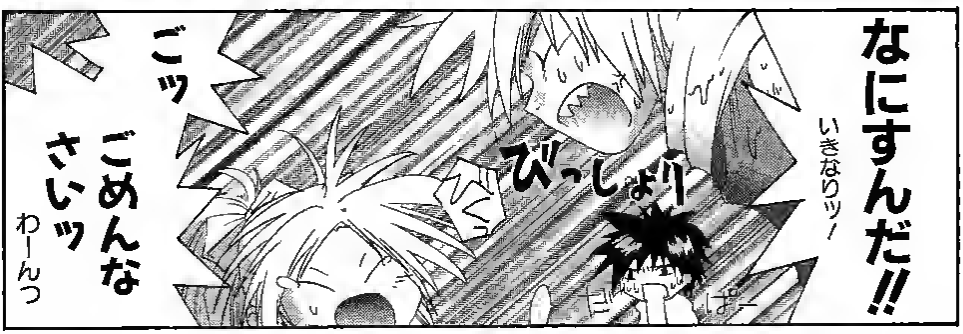
私はエルフィスを殺す…！
私の中のルカヴィフェイトの血がエルフィスの血と肉がほしいと言っている!!

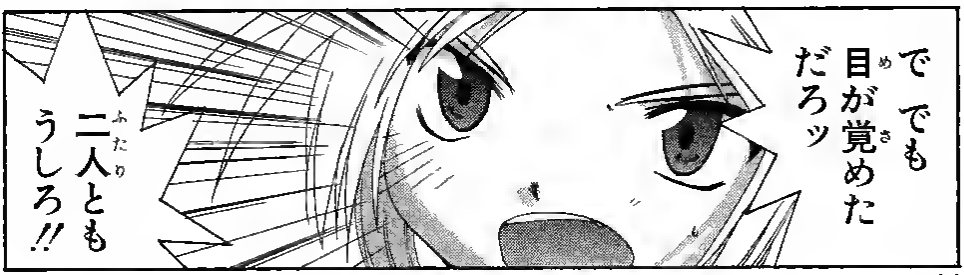
私は
エルフィスの
血と……
肉が……
ダメ!!

ぽーん
う…
な、なんだよ…
うううう…
！
う…
おい？
どうした？
…？

もいっぱい
イキマース!!
かんぱーい!
ぎゃーっ
ズキッ
ゆらあ
ほえ?
うう…
レビ~
なんか周りの人たちこわいんれすけど…
なんらぁ~?
レビナスー!!
ついでにナオト!
シンクロチェック

!!
やぁ
ヤバッ


なにすんだ!!
いきなりッ!
びっしょり
ごッ
ごめんな
さいッ
わーんっ


でも
でも
目が覚めた
だろッ
二人とも
うしろ!!

わッ
おっと
うう…
黒い炎…！
この人達とりつかれてる!!
まさかエルフィスの邪気か…
こんなときに…！
邪気？
黒い炎のことか？
エルフィスがまきちらしているのさ
本体にくらべりゃかわいいもんだがとりつかれるとやっかいだ
どうなるんだ？
魔物になる

ぉぉぉ

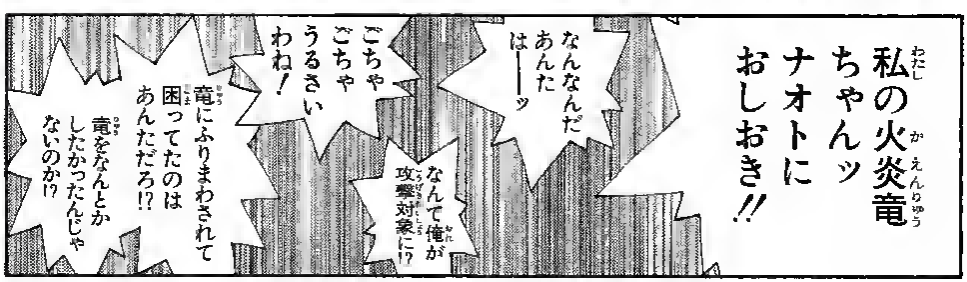
おとなしくなさいッ
きゃ～
ぽっ
ぽっ
とっ
……
くオの～
私に逆らうと言うのねッ
きゃ～
何見てんのよ
びくっ
あまたやな予感…

ぐるるる…
さあっ
戦い
なさい！
だれが
あんたの
命令
なんか
きくか――ッ
ヤミ！
あいてに
なるな…

ひぃ
は!?
ルシアの召喚獣少年！
あんたに この火炎竜と
戦う使命を与えて
あげるわ！
光栄に思い
なさい!!

今のうちに
逃げよう
ルシアの
方も
心配だ…
ささ
うん…
生きてたら
また会おう

私の言うことが
きけないってんなら――


私の火炎竜
ちゃんッ
ナオトに
おしおき!!
なんなんだ
あんた
は――ッ
ごちゃ
ごちゃ
うるさい
わね！
なんて俺が
攻撃対象に!?
竜にふりまわされて
困ってたのは
あんただろ!!
竜をなんとか
したかったんじゃ
ないのか!?

はは…ん！
残念だったなカミュー！
よっぱらいなんかに負けるかー！
今のあんたには竜は制御不能……
ヒィイイーッ
ここのイズミ…
ヤバ…
よっぱらい
レビ！ユーロ！
ここは3人で力を合わせて…!!
ってレビとユーロがいないし！

俺も逃げる！
こらまて逃げるナ！
ぐあ！
ルシアなら心配ないわあの娘のそばにはイプシロンもいるしレビもユーロも行ったみたいね？
そーみたいスね…

いい？仕事変更よ
あんたの仕事は邪気にとりつかれた人々やあの竜から私を守りつつ！
ひィイーッ
竜が村の人々を襲わないようにあんたがおとりになってひきつけることよ！
これならできるでしょ？
できん！
最悪だ!!
よりによってこの人とおとりのこされるとは…
だいたいこの人敵なのか味方なのかようわからんし！
なんなんだ？一応デザコルの仲間なのか？

正直言うと
あなたがどれほどの
力を持っているのか
興味あるのよ
だから
戦い
なさい!!
無茶苦茶な事
ばっか言うな!
そんな真面目な
顔されても!
さあ戦え!!
我が下僕よ!!
ホホホホ
ルシア
だったら
こう言うわ
…
え…?
さよなら
!
あっ
こらッ
はあ
はあ
だけどホントに
敵ばっかだな…
みんなとりつかれ
てるのか…
とりあえず
ここに隠れて
やりすごそう…
さっきまで
親切な人
だったのに…

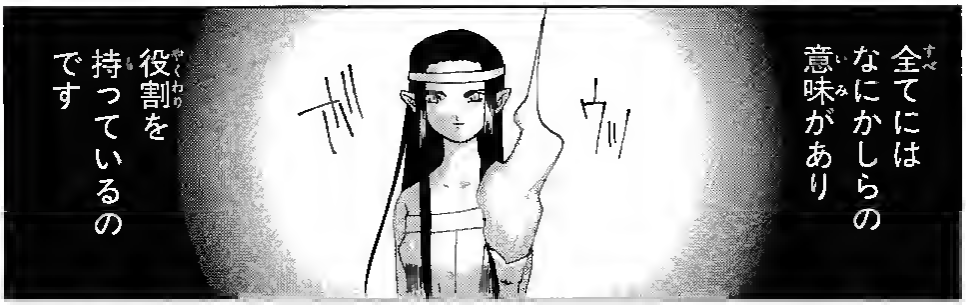
ハハハ
ドヤ
ヨオ 崎イ…
ちょっと 金かして くれねェか
ニヤ

行こう ちさと
……
逃げるのかよ！
ハハ… オクビョーモノ！

臆病者でけっこう！
逃げなきゃ生きのびられない!!
やめときゃいいのに…

そ
そーゆーのって
…
ヨクナイと
思う
とりんっ
!!
たっ
くそ…!
うりゃ!
ガバしゃんっ
おっ
おにーちゃん!
うっ
大丈夫かッ
そりや
俺だって
…
よしよし
おまえは
邪気にとりつか
れてないな!
うん
来い!
いっしょに逃げる
ぞ!

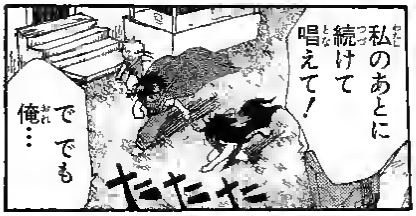
俺だって
戦う力が
ほしいさ!!
たたた


全てには
なにかしらの
意味があり
役割を
持っているの
です

なんだよ
俺の役割って…!
この世界に来た
意味ってなんだ…!?
悪いケド
俺にはこれが
精一杯だよ!!
はっ
はっ
くそ走ってばかだな!

あなただって
その気になれば
術くらい使える
わよ？
げっ
カミューいつのまに!!
しかも
竜ひきつれて！
せっかくまいたのに！

あなた
どこで拾ったか
知らないけど
は？
炎の精霊が
あなたについ
てるわ


私のあとに
続けて
唱えて！
でも
俺…
たたた

炎の
精霊…？
ボウッ
あ
あのとき…

いいから！
言うとーりに
やってみなさい！

偉大なる
炎の精霊
サラムドより
授かりし力
……
我が心に
隠れし
炎の種よ
違和感ないの！
もしもだぜ
なれッ
いイダイなる
炎の精霊
サラムドより
サズカリシ力…？
わがこころに
かくれし
ほのおの
たねよ！
今ここに
目覚めよ!!

おお
くぉお
こっちからは攻撃すんなよ！邪気ぬけば元にもどるから！
うんわかってる！
うぅ～～…
えーんっこあいっ
さっきまでよーきに騒いでた人たちなのにッ
酒のみまくって邪気に対する耐性が低くなったんだろ
俺もおまえが水ぶっかけて覚ましてくれなかったら危なかった

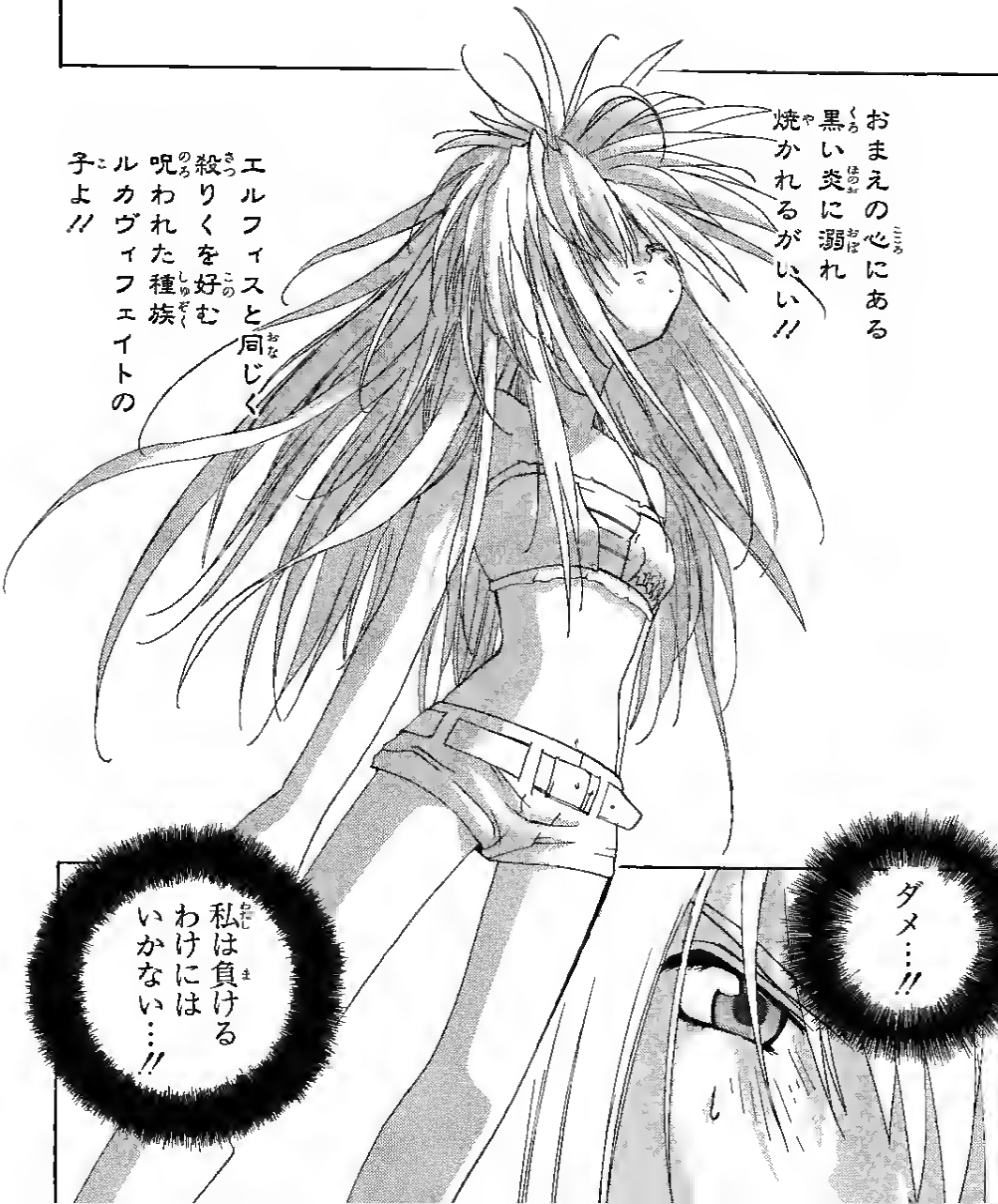
ありがとナ
ユーロ
えへへ
てれてれ
僕ちょっとは役にたったかな
ナオトは大丈夫かな——
今さら心配になってきた
さっさとおいてきちまったけど…
カミューがいるから平気さ…
カミューがいるからよけい心配なんだけどナ!
それに
あいつなんていなくたって……
ユーロ

僕はそんないきなり
仲良くなんてできない
あんなやつとっ
でも
おまえも俺も
そーだ
ルシアが仲間
と言ったから
いっしょにいる
だけど…
あんな
弱ソーな
やつ…
ほら
行くぞ！
うん…
そうだ
ルシアが
言ったからだ
……
ルシアがあいつを
僕らの仲間に入れる
って言ったからだろ
レビナス
だって…
ズ…

か 体が
どんどん熱く
なってく…!!
体の中心から
なんかが
わき出てくる
……!!
自分の内に
出てきた力を
流れにまかせて
標的に向かって
うつのよ!
おおお——っ
なんかすごい!?
俺
かっこいい!?
もしかして!?
ようやく
まんならしい
かっこがっ!

はぁあッ
出ろ(で)ファイアーボール!!

ドン
不発!?
ふしゅー
ため息…!?
ぼー
あなたダメ…才能ない…
!!
ズゴーン
せいぜい逃げ足をきたえるのね
やっぱダメなのか俺〜〜〜!?
くそ〜〜〜っ
しがみついてつかまってろっ
このダメ少年
ダメ


おまえの心にある
黒い炎に溺れ
焼かれるがいい!!
エルフィスと同じく
殺りくを好む
呪われた種族
ルカヴィフェイトの
子よ!!
ダメ…!!
私は負ける
わけには
いかない…!!

今はナオトもいてくれる…

ずっとずっと前私が私でいる記憶の中で一番古い記憶

私を助けてくれた……今度は私が助ける！

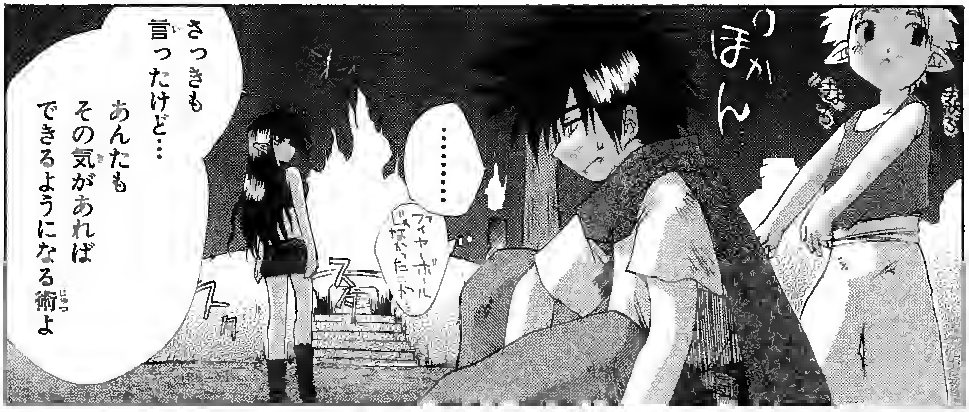
…試練に
打ち勝ちし少女よ
我に続き
唱えよ…
召喚獣少年！
しっかり見て
おきなさい
は…!?
なにを
!?
さっき
あんたが
失敗した

おお…！
やった!!
な なん
だ…!?
術(じゅつ)よ

あ…
あれ？
うーん
うーん
二日酔いだ…

この村中の
邪気は浄化された
でしょうね
もう安心よ
は――

？
あ
もとに
戻った…


ぽかん
……
ファイヤーボール
さっきも
言ったけど…
あんたも
その気があれば
できるようになる術よ

ほらッルシアの
召喚獣なら
しゃきっと
なさい！
今回はルシアの
おかげで
助かったけと
逃げてばかりでは
ダメよ 少年！
この世界では
生きのびるために
戦うのよ

わ
わかってる
よ！
あんたは
攻撃的すぎ
だけどナ！

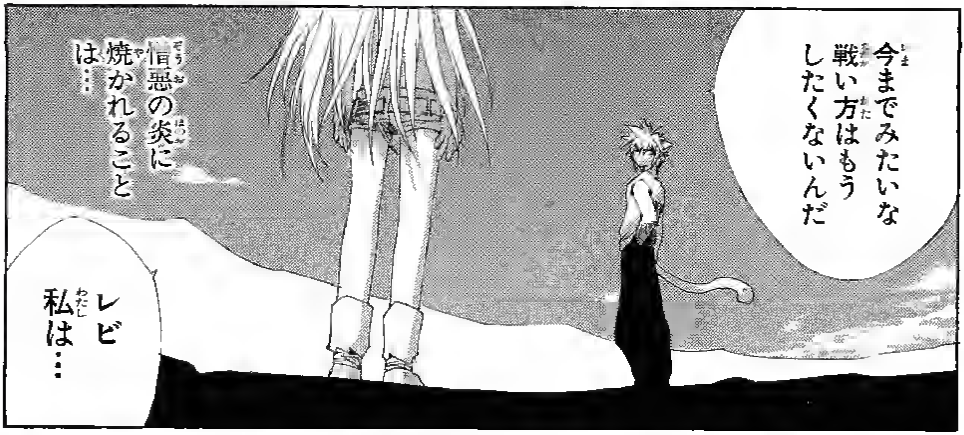
でも…
そうだな
俺も強く
ならなきゃ…
今日だってずっと
逃げてばっかりで…
情けない人間だ

ルー
母さん
……
なんだヨ
お兄ちゃん
助けてくれて
ありがとう！

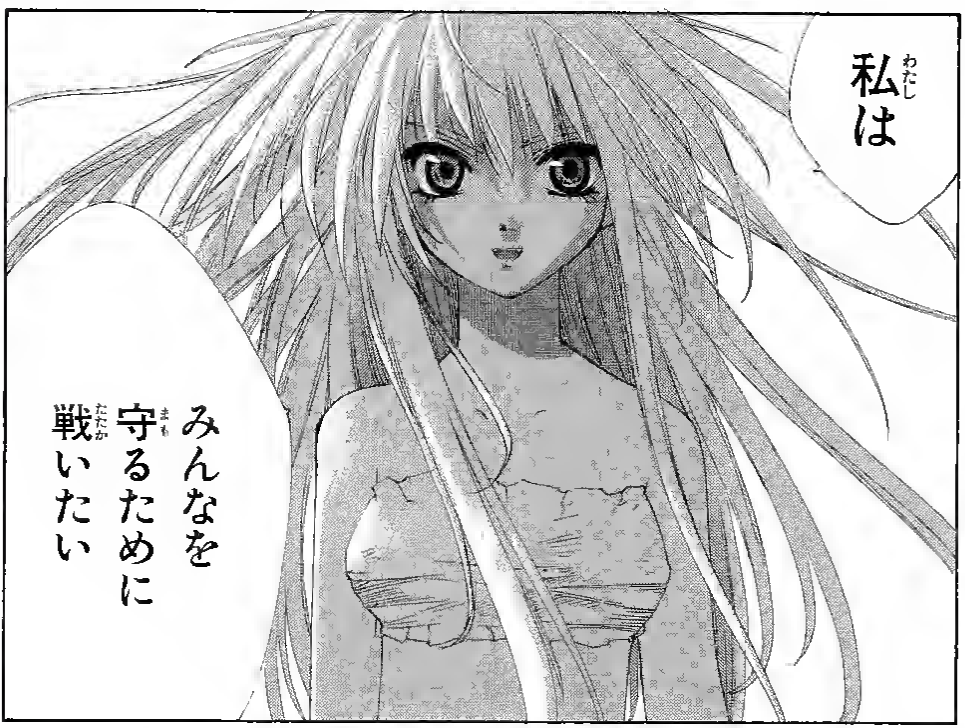
ど
どーいたし
まして
……
あれ なんか
えらそーな事
言ってるケド
戦わざるをえない
状況にしてんのは
あんたなん
じゃ…!?
さーてッ
まだきだ
飲むわよーッ
ホホホ

ルカヴィフェイト…
私の種族の魂は
憎悪の炎に
焼かれている
私に流れている
ルカヴィフェイトの
血はどうしようも
ない…
エルフィスを
見ると我を
忘れて戦う
なぜ憎んで
いるのかすら
忘れるくらい
自分の心がどこかへ
行ってしまう

# #8
# ファイアーボール

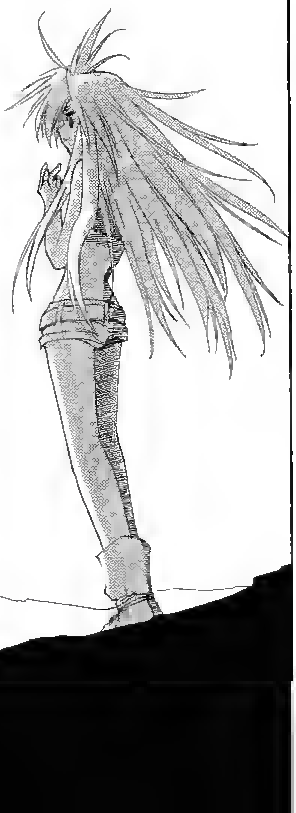

今までみたいな
戦い方はもう
したくないんだ
憎悪の炎に
焼かれることは…
レビ
私は…

とても
とても
苦しい
ん…
ずっと
見てきたから
知っている

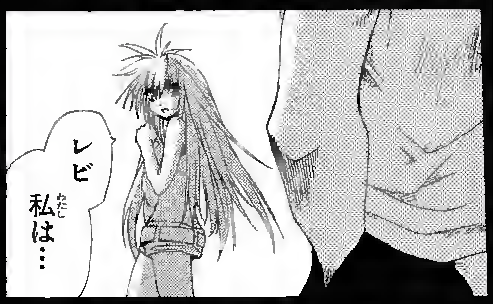

私は
みんなを
守るために
戦いたい

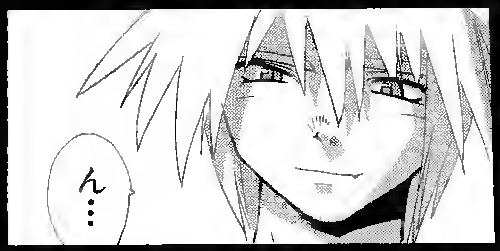
これから当分はルカヴィフェイトの力を使わなくてもいい戦い方を探す

炎の精霊を手に入れたけどまだまだだ

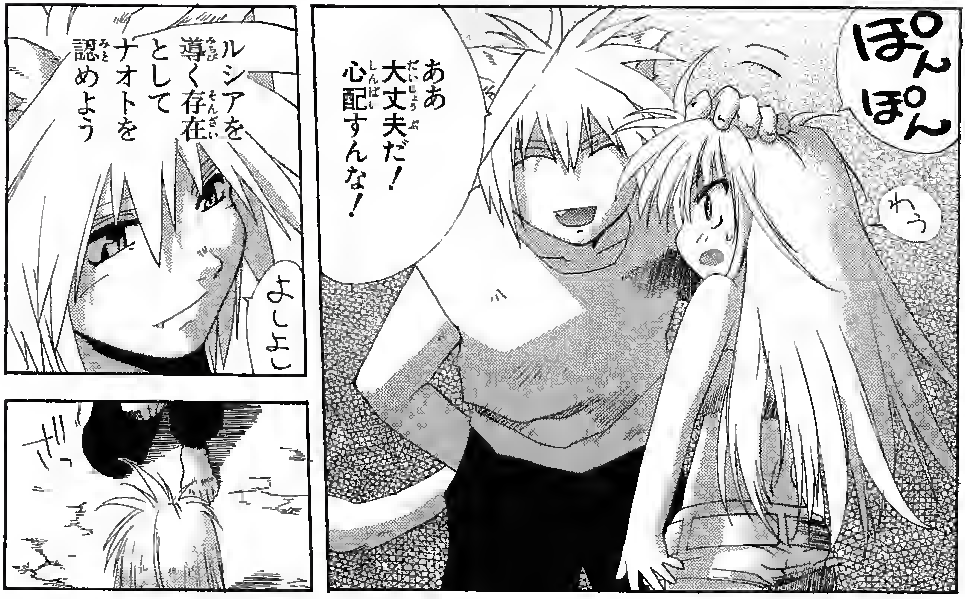


闇の中から…



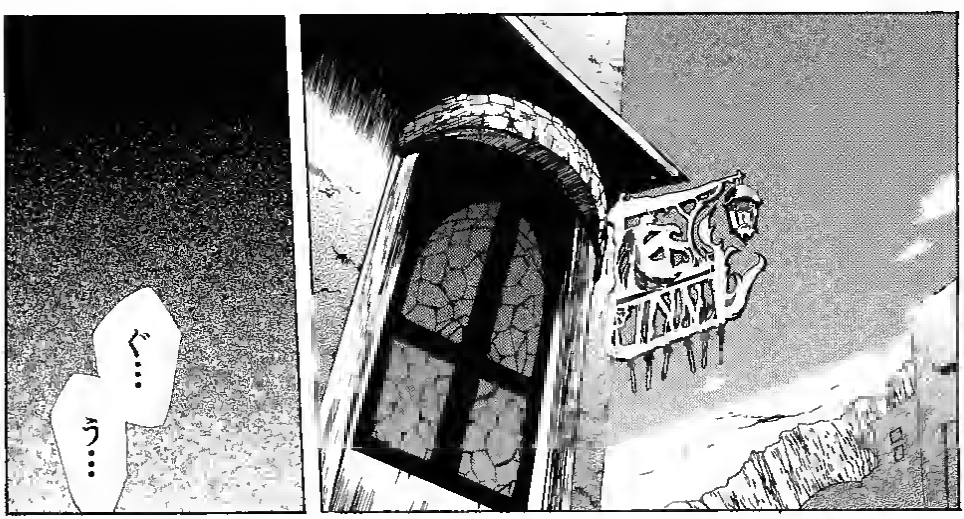



光の差す方へ


ぽんぽん
わっ
ああ
大丈夫だ！
心配すんな！
よしよし
ルシアを
導く存在
として
ナオトを
認めよう
ざっ

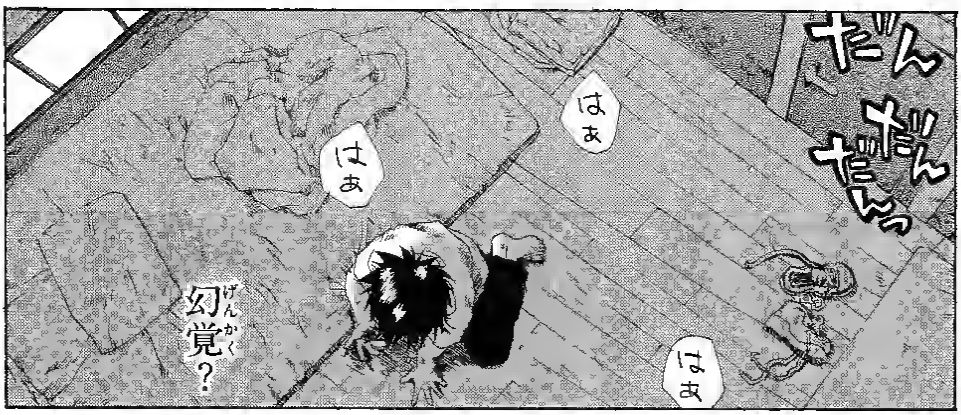
俺はルシアに
ついていく
何があっても
守り続ける
このレビナスは
貴女に忠誠を
誓った身だ

この命の限り…


ぐ…
う…

ぐぐ…
うう…
ああああ…
熱い…!!
はあッ
ここはどこだ
夢？
現実？
はあッ
ば、!!
ああああッ
燃えてる!!?

わぁあッ
とっ
うぐ…ッ


だんだんだんっ
はぁ
はぁ
はぁ
幻覚？

はぁ
はぁ
どうしちゃったんだ俺の体……？
うるさい!!
ここはオルゴス…か
カ カミュー…
たのむ水を…

朝っぱらから
うるさい!!
ビシィ
……
……
うう
とても
カミューの
相手ができる
状態では
ない…
ここ
あら
無反応?
だいぶ苦しんでる
ようね 少年
それ昨日
ルシアが苦しんだ
やつね
?
あんたの体と
ルシアの体
感覚が
つながってるって
ことよ
でもだいぶ時間差が
あるみたいだわね
もうしばらくすれば
なくなってくると
思うけど 時間差

で
あんたの体は
何でできてる?

俺の体…？
ドクン
あんたの体はルシアの魔力でできている
あんたとルシアの力の源はつながっているという事でもある
それって具体的にどーいうことなんだ？
？？？
ばか

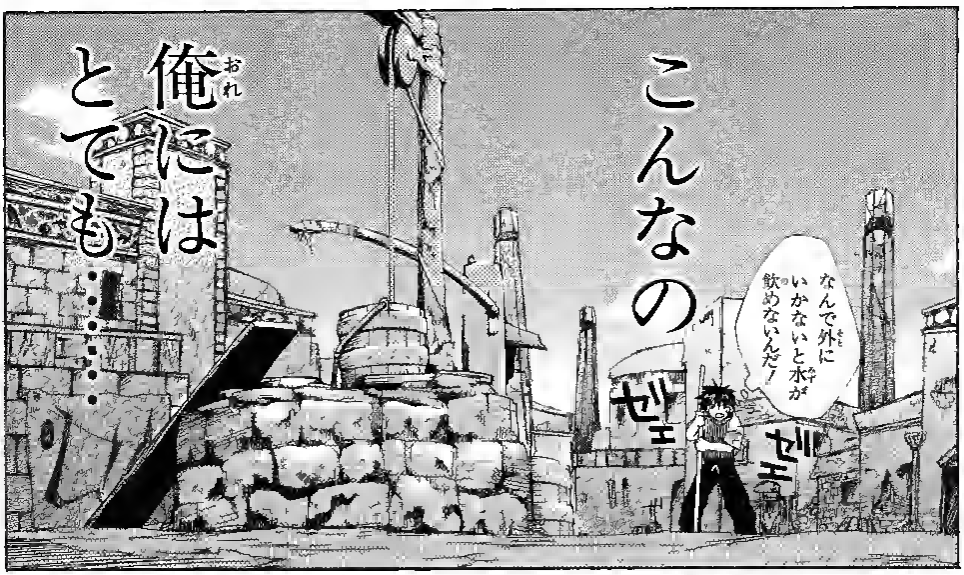
やっぱりあんた頭やられてるわ
それとも元々そんなカンジだったかしらね
スタスタ
熱がひいたら自分で考えなさいそれくらいじゃあね
……

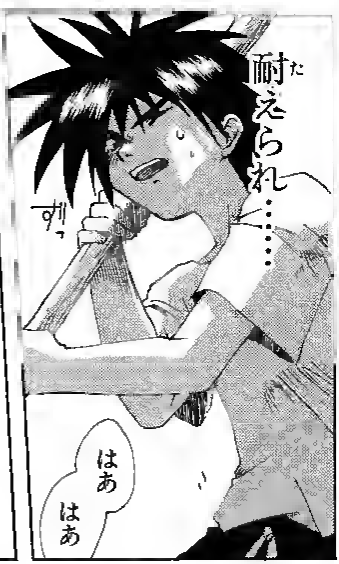
それと
ビシッ
くれぐれもうるさくしないよーに！

ばたん…
……

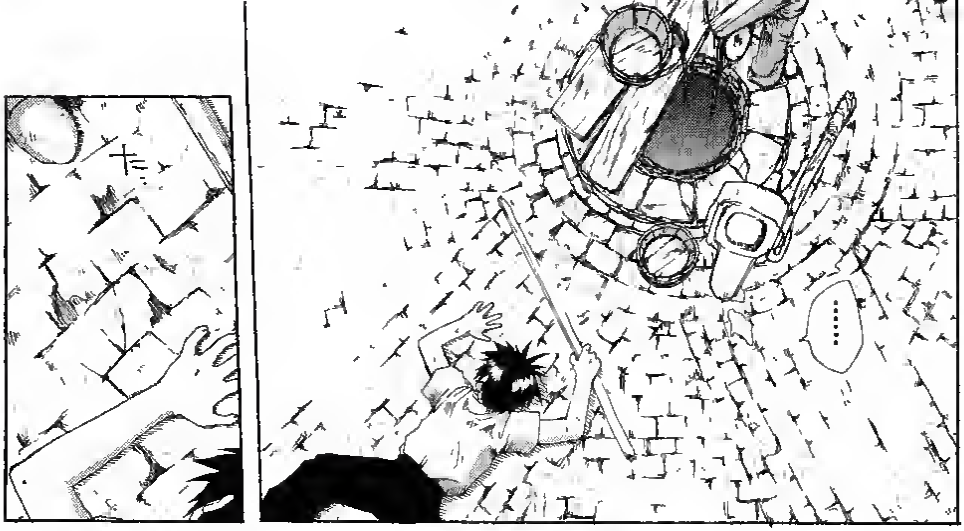
み水…
くそ人が苦しんでるときに…
とにかく水だ…

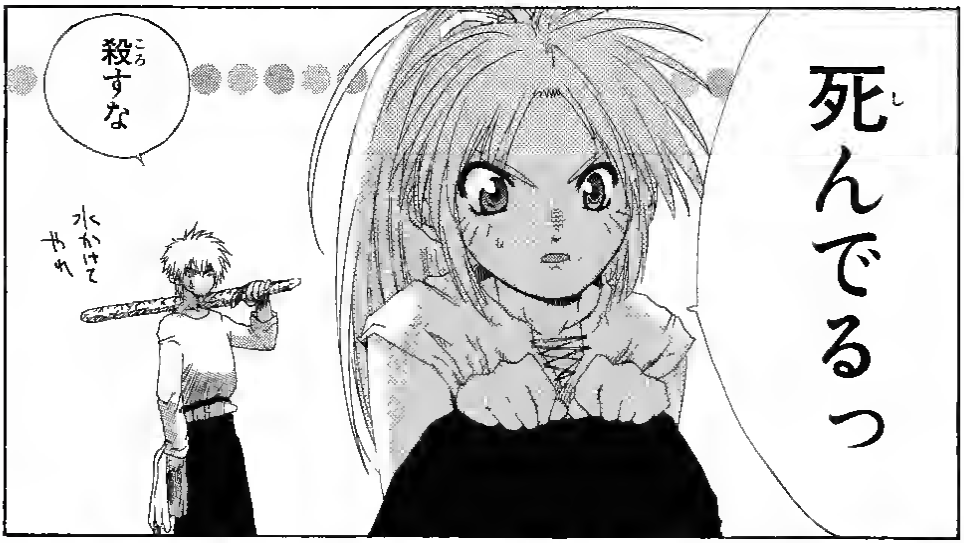
昨夜(さくや)
ルシアもこれと
同(おな)じ苦(くる)しみを
……？



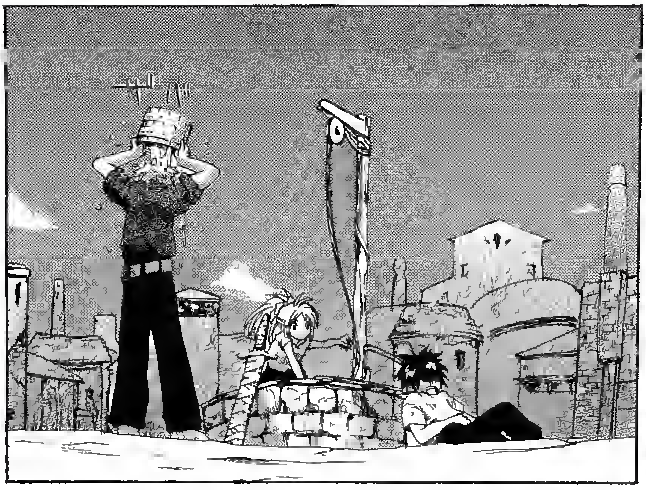



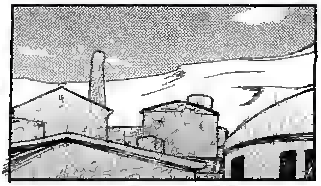
……

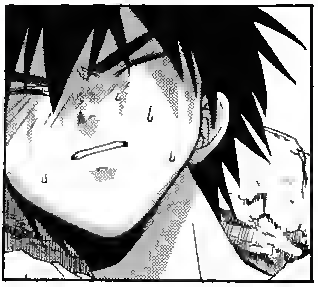

……

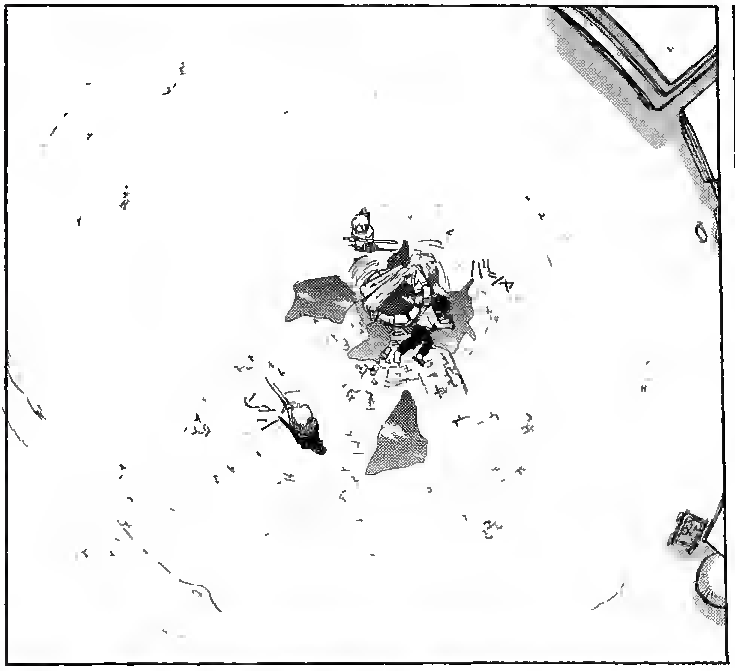

死んでるっ
殺すな
水かけてやれ

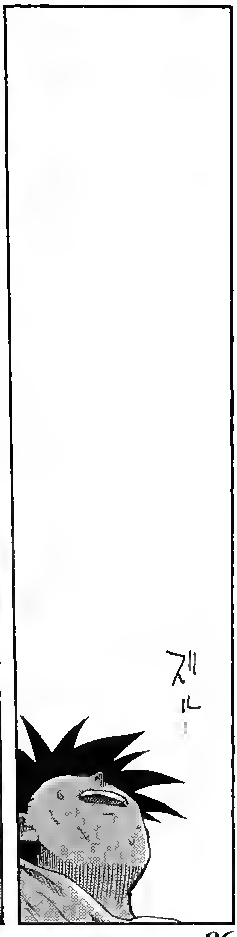
ぷはっ
あ
生き返った
……
ユーロ
イプシロン
…





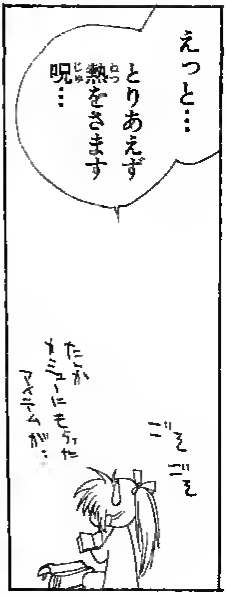


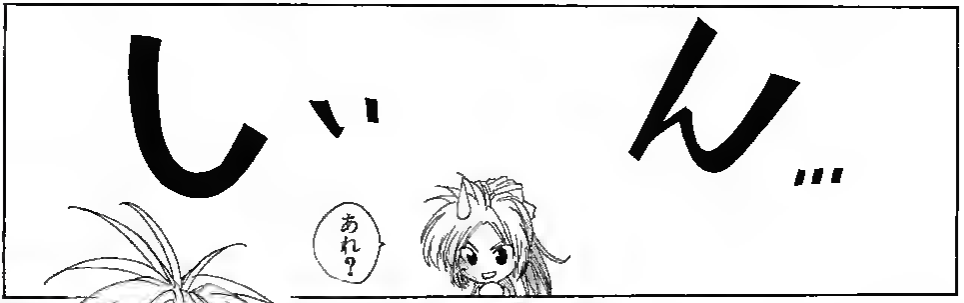


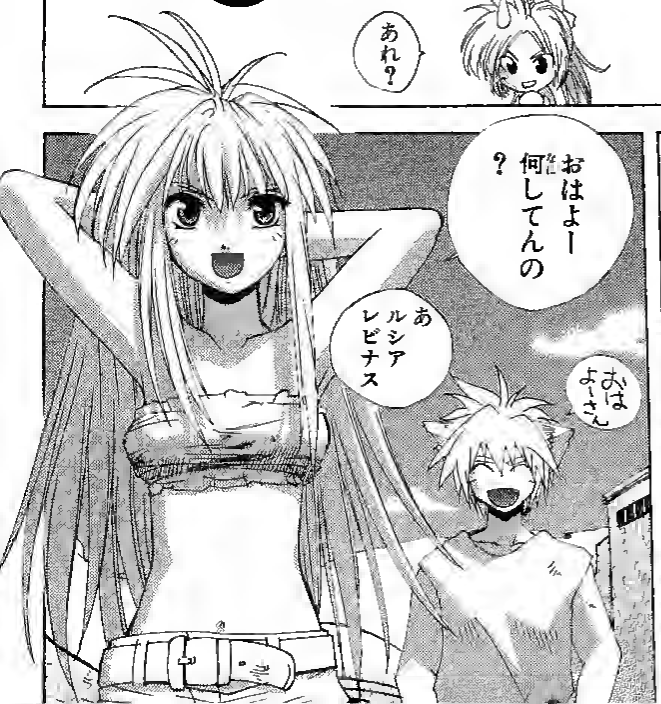


ユーロ
カミューに習った術なんかないか
……
ナオトをなんとかしてやれとって
あの
僕も剣の練習…
ユーロ 剣なんてやってたっけ？
ナオトをなんとかしてやるのが先だ
おう…
なんで僕が…
はあ
うう…
はあ
それにしてもナオト苦しそうだナ
どうしちゃったんだ？
……

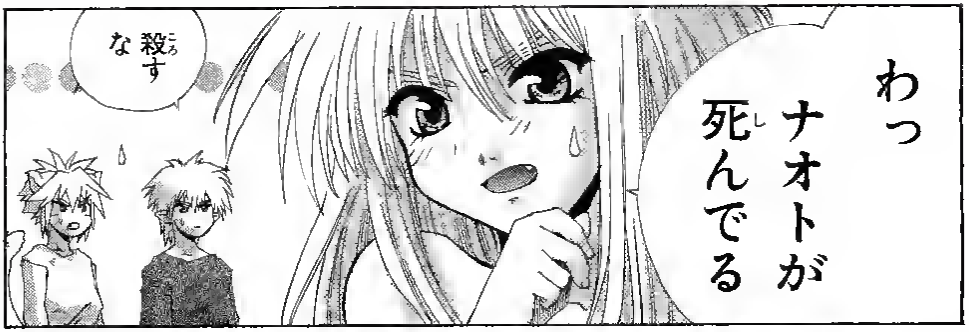
蝰の玉に宿りし
風の精霊
シィルートよ
汝の力により
ナオトに宿しり熱を
闇の彼方へと
去らせたまえ


えっと…
とりあえず
熱をさます
呪…
ごそごそ
たしか
ミニアーにもらった
アイテムが…


しぃん…
あれ？

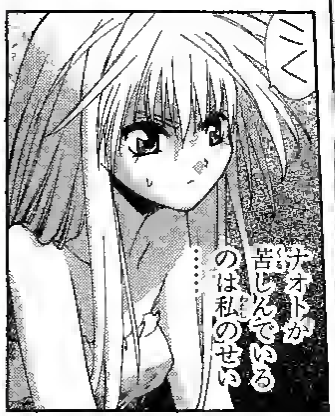

おはよー
何してんの
？
あ
ルシア
レビナス
おは
よーさん

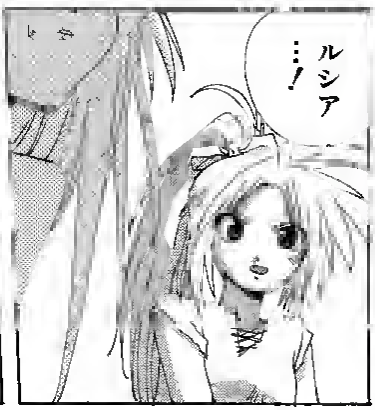
闇なんて
ないナ


わっ
ナオトが
死んでる
殺すな

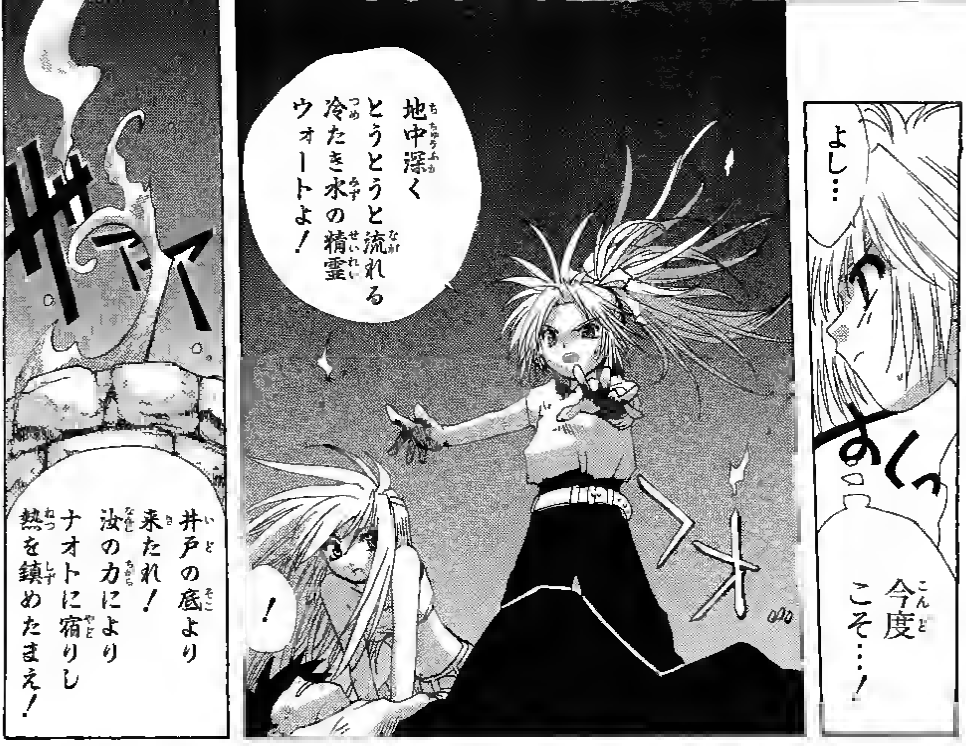
昨日のルシアの…

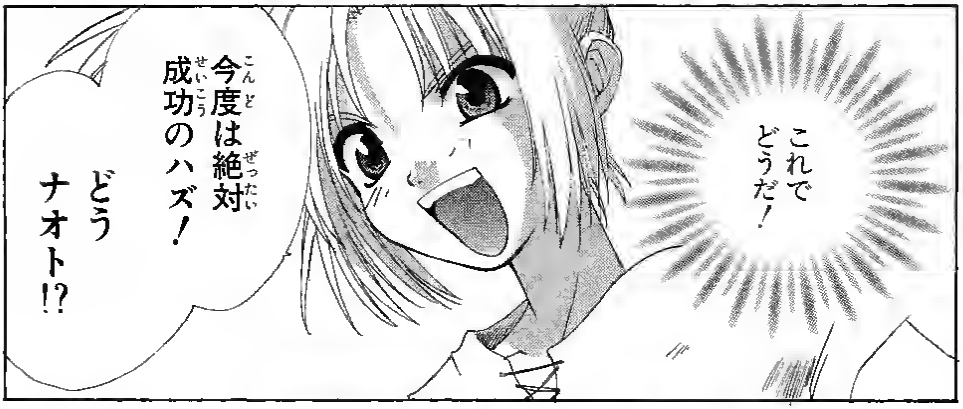
すごい熱だが
これは……
ナオト…
う…


ナオトが苦しんでいるのは私のせい……

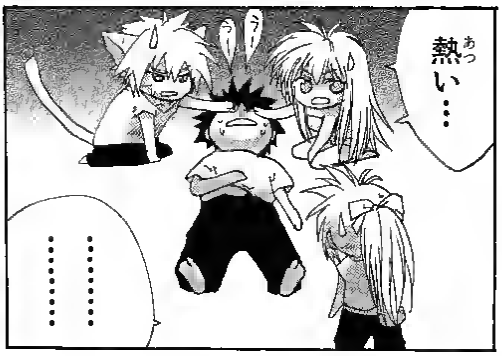

ルシア…!

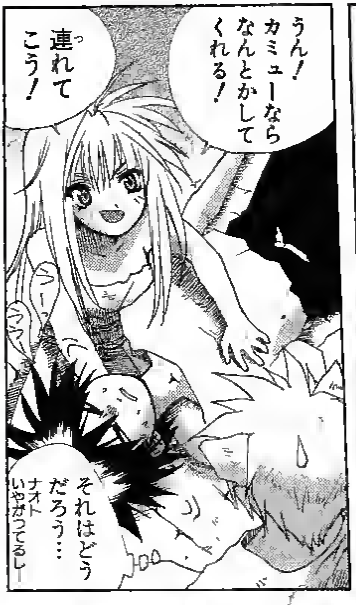
僕がなんとかする!
もいっかい…

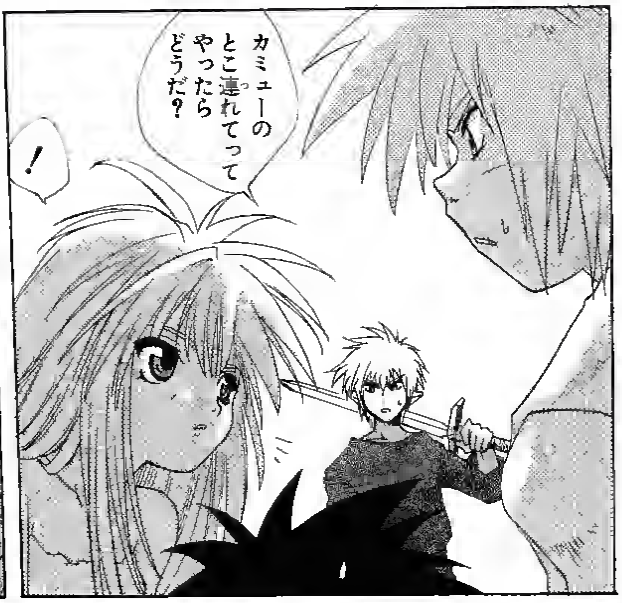

よし…
今度こそ…！
地中深くとうとうと流れる冷たき水の精霊ウォートよ！
井戸の底より来たれ！汝の力によりナオトに宿りし熱を鎮めたまえ！
ザァァ
！

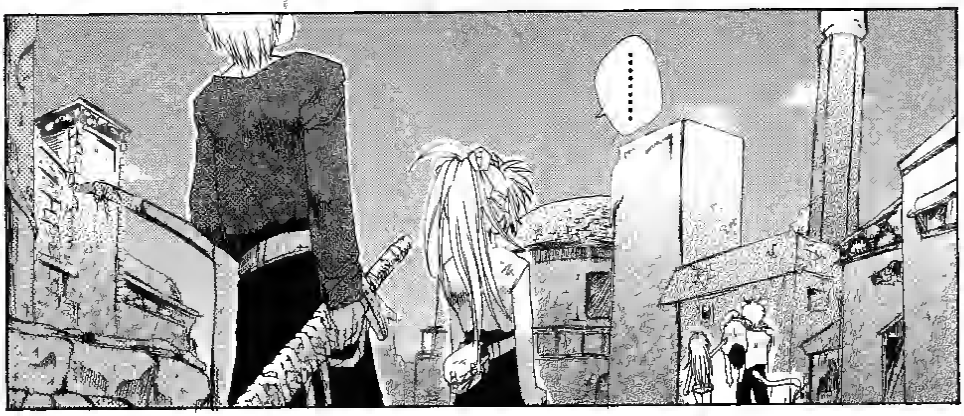

これでどうだ！
今度は絶対成功のハズ！
どうナオト!?

がくし…
どうしよう…

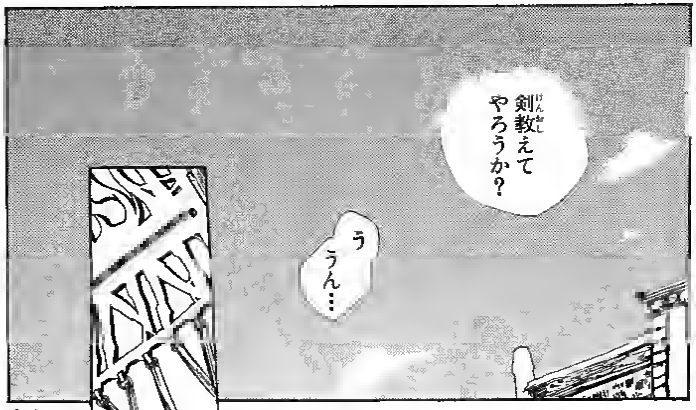

熱い…
……


うん！
カミューなら
なんとかして
くれる！
連れて
こう！
それはどう
だろう…
ナオト
いやがってるし


カミューの
とこ連れてって
やったら
どうだ？
！


……

……


剣教えて
やろうか？
う
うん…

ヤツだ
ヤツだ
来たわね…

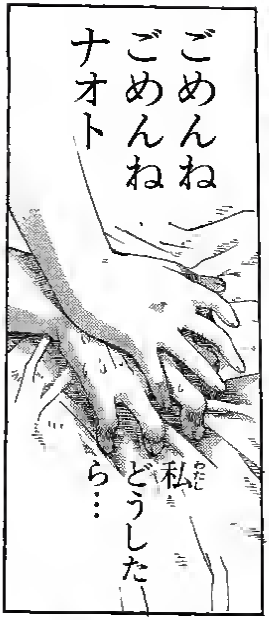
はぁん
カミュー
なんとかしてくれ！

それが人にものを頼む態度か

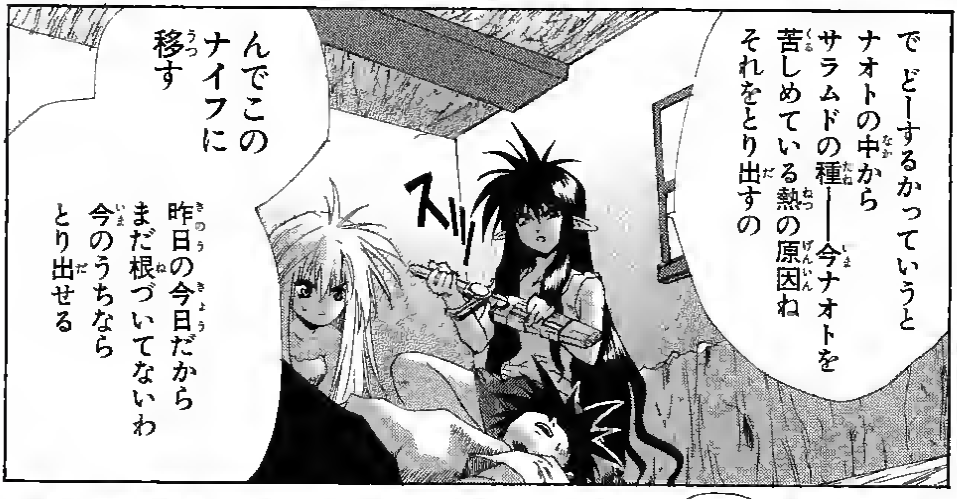
なんとかしてくだサイ！
ガラ
あらスナオ…

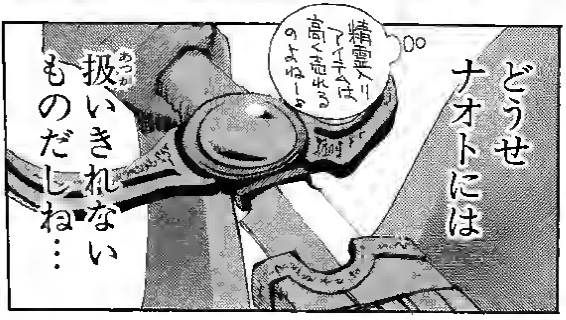
はー
まーなんとかしてやらんこともないけど

ゼー
ゼー
ハアハア
外に出るなんてばかねー
部屋の中でおとなしくしていればいいものを…
早くなんとかしてやってくれ苦しんでる
ナオト〜
まったくだらしないわねぇ〜〜
ちょっとやそっとの術なんかじゃだらね
この熱は炎の精霊サラムドのものよ
ルシア あんたにサラムドの炎の種が宿っているのと同じようにナオトにもそれが宿ってるわかるわね？
ニヘ


ごめんね
ごめんね
ナオト
私
どうしたら…

ナオトをこの世界に
召喚したという事は…
ナオトに自分の
痛み 苦しみを
共有させるって事
だったんだね…


で どーするかっていうと
ナオトの中から
サラムドの種——今ナオトを
苦しめている熱の原因ね
それをとり出すの
んでこの
ナイフに
移す
昨日の今日だから
まだ根づいてないわ
今のうちなら
とり出せる


どうせ
ナオトには
扱いきれない
ものだしね…
精霊入り
アイテムは
高く売れる
のよねー♪

う…

たぶん
一番いい方法は
ルシアとナオトをつなぐ
糸を切っちゃう
事なんだけど…

ナオトを
この世界から
消滅させるって
事だから
それは
かんべんして
あげる…
さあ
始めるわよ

炎の精霊
サラムドよ
ナオトに宿りし
汝の燃えさかる
炎より生まれし
熱き種
ナオトの体
より出で
我が前に現れよ

ドン
ドン
ドン

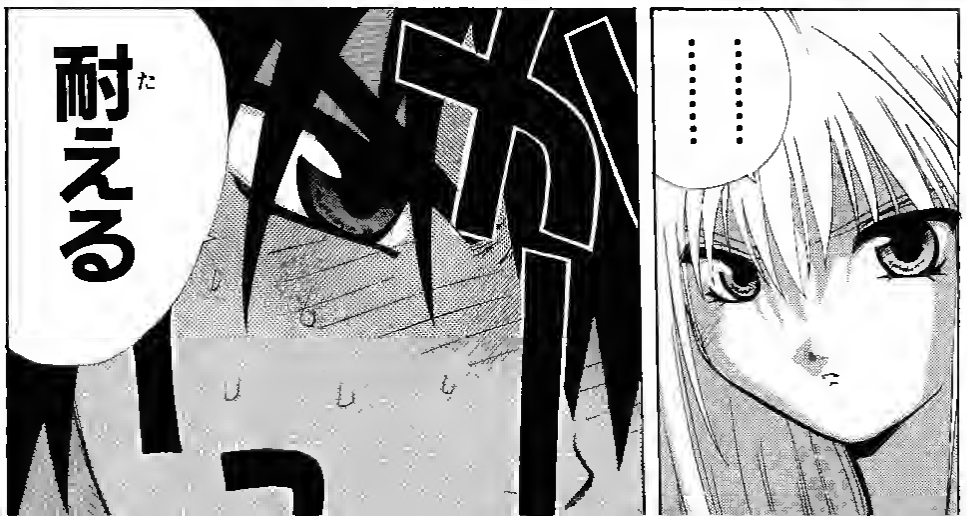
気がついたわね
ナオト！
!!
ガバッ
よかったナ
あ…？
？
おいっ！
それじゃこの炎の種をナイフに移すわ
新しいHDが買おっかしら
ゆら
ゆら
何勝手な事してんだッ人が寝てる間に！
ナオト？

ニルボラ
寝てたんじゃないでしょあんたは！気を失ってたんでしょーが!!
忠告う？
いっかいさてれ…
ずっき…
ううう…
しゃうー
人の忠告無視して外をうろつくからよッバカ！
ぱたたびねむってしまえ
ちゃんと静かにするように言っておいたでしょばか
『くれぐれもうるさくしないように』ってあれか！
もうちょっとわかりやすく言えよ！
そしてできれば
うるさいばか

今から楽にしてあげよーとしてるんじゃない
静かにしてなさい
だから！
きゃあッ!?
ばっ
勝手にそんなことするなって言ってんだッ
ここら何するつも…
あっ
はっ

……
……
……!!!

はあ…
これ昨日ルシアも味わったやつなんだろ…
だったら…俺だって耐えられる
このバカ…せっかく出したのに…


耐える
……
……

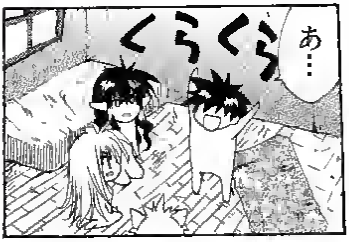
それに…
俺も術
使えるように
なれば…
俺だって
ちょっとは戦える
ようになるんだ
はあ
ガク
はあ
はあ
ナオト…
もう
逃げてばっか
なのは…
……

あまえん
じゃない
ばか
ゼー
ゼー
くい
!
あんたみたいのに
術が使える
ものか
な…
出来もしない
事を口にする
んじゃない

「もう逃げるのは
いやだ」？
口で言うのは
簡単なのよ
このばか
ムカムカ
お…
おれだって…
くっ
俺だって
ファイアー
ボール
くらい…
ボッ
！
ボン
ぱっ
わッ
あちっ
!!

そうか…
わかった

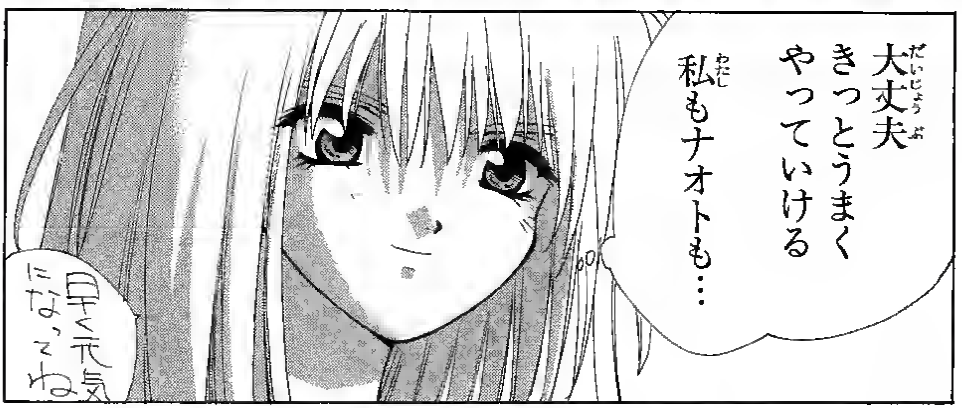
俺とルシアの
力の源が
つながってる
っていう事は…



ルシアが使える
ようになった術は
俺だって使えるって
事なんだ…

ルシアの苦しみを
共有する見返りに
強くなれる

うん
悪くないと
思う…



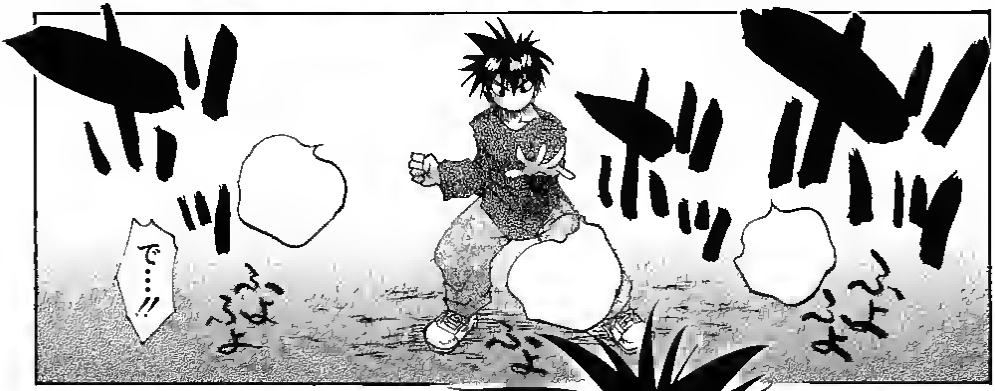
# ＃9　ナオトのちから

はあ…
どうしたら
もっとみんなの役に
たてるのかな
――…
僕みたいな弱っちいのが
デザートコーラルにいても
きっと……
クァッ

きっとみんなの
足をひっぱるだけだ…
あはは
心配して
くれてるの？
僕には君の
言葉わかん
ないけど
ありがと♪
とっ
クマーッ
僕にもっと…
……
……
よしッ
がんばろっと！
せめて
雑用くらいは
ちゃんとね！
クマーッ
！
えーと
うとなに
買うんだった
かな

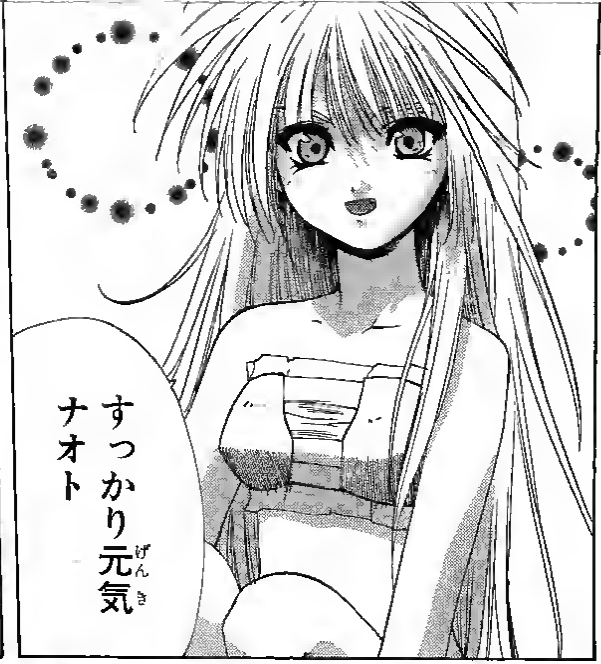
!!
え
な
何…!?
ド
ド
ド

ファイヤーボール！
ファイヤーボール!!
ファイヤーボール!!!

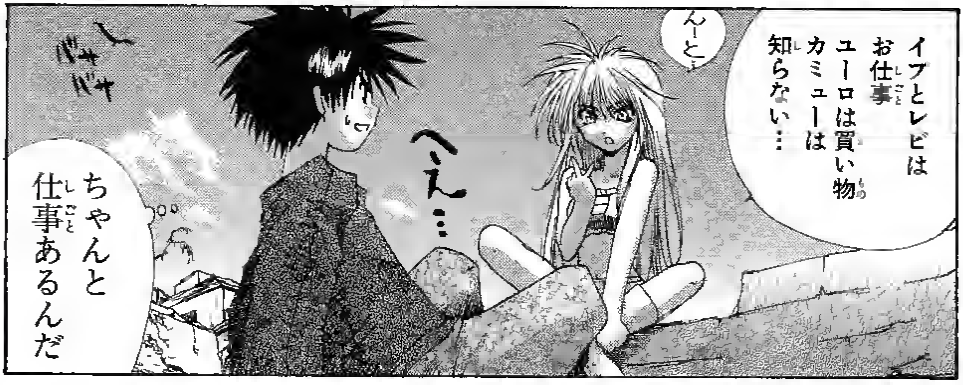

で…!!
ぶよ
ぶよ
ぶよ

合体い!!
しお
しお
しお～
味
敗
使え
ねーッ!!
……

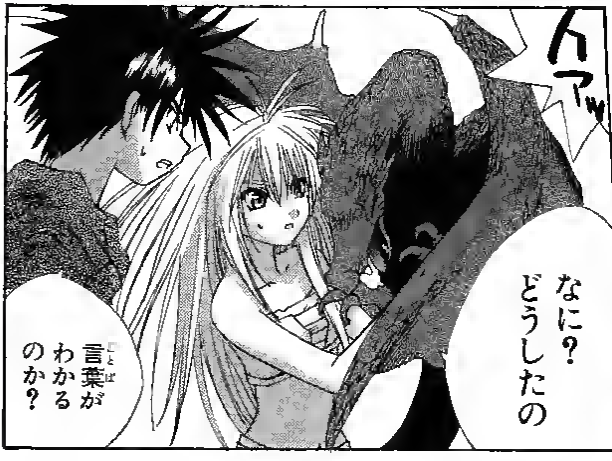
がんばれー
術にこころはやなり
ナミュに教えとこうかな
いやだけは


すっかり元気
ナオト

そういえば
他のみんなは？
今日は平和だナ
カミューが
いないせいか


イフとレビは
お仕事
ユーロは買い物
カミューは
知らない…
へぇ…
ちゃんと
仕事あるんだ

クアッ
竜…

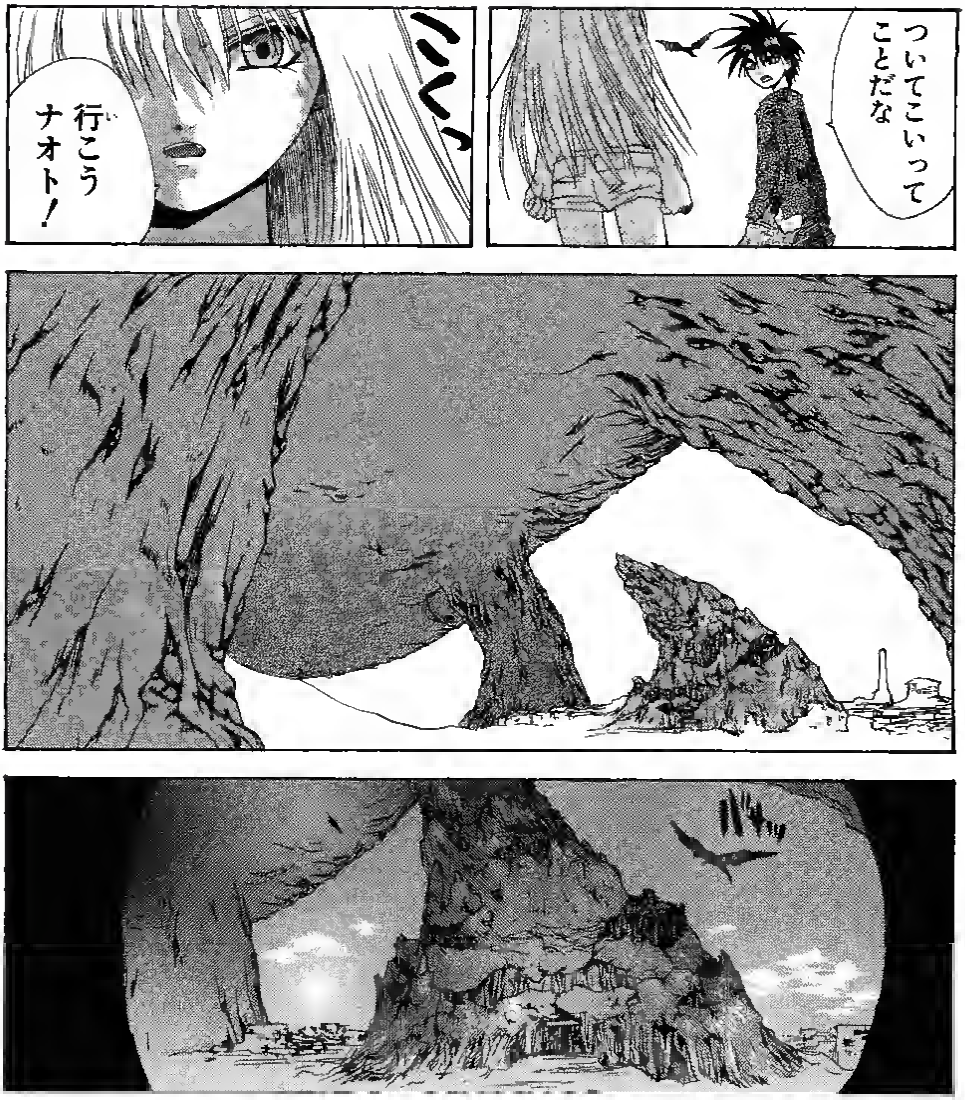

クアッ
なに？
どうしたの
言葉が
わかる
のか？

ナオト大変(たいへん)!!
ユーロがさらわれたって!!

ユーロが…!?

ク…ッ
!

う…
まさか…

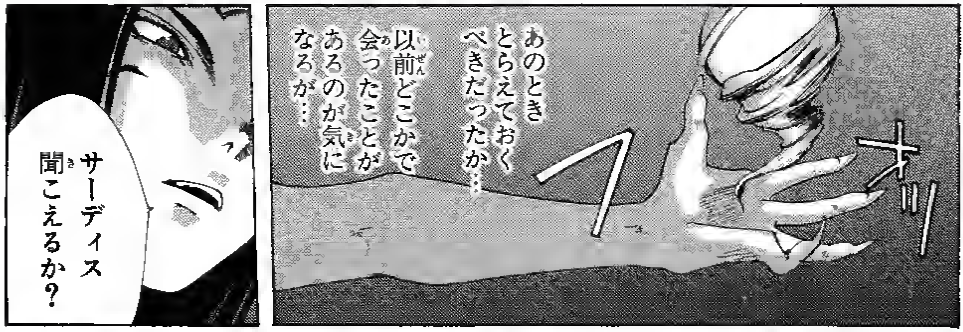

ついてこいってことだな
ハッ
行こうナオト！
あの少年はあのときの…
時空竜をつれていたと思われる少年
……

もう一人の少女は…
あのとき空から
降ってきた娘だな…

ふむ
あの少女…それ以前にも
出会った記憶がある…
そう遠くない昔…
どこでだったか…

あの髪の色…
あの種族は
ルカヴィフェイトだ
サンドダストの中で我ら
ユルフィスに対立しうる
唯一の種族か!
ほう

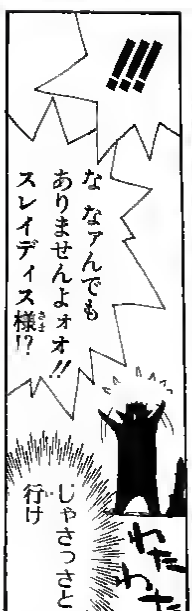
ガン
あった…
ルカヴィフェイト
ルカヴィフェイト
朱の混ざった銀髪
美しく整った容姿
その身体の内に
すさまじい魔力を
秘めているが
その力が
解放されるのは
10歳をこえてから
10歳までは
おとなしく従順な性格
ただし10歳をこえる前に
処分することを
すすめる
ランク
3A…か
ふむ


サーディス
聞こえるか？
あのとき
とらえておく
べきだったか…
以前どこかで
会ったことが
あるのが気に
なるが…

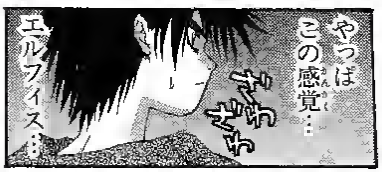
新しいのが2匹…
そのうちの
髪の長い方だ
さてどんな力を
持っているのか…

いいか
殺すんじゃ
ないぞ…
……

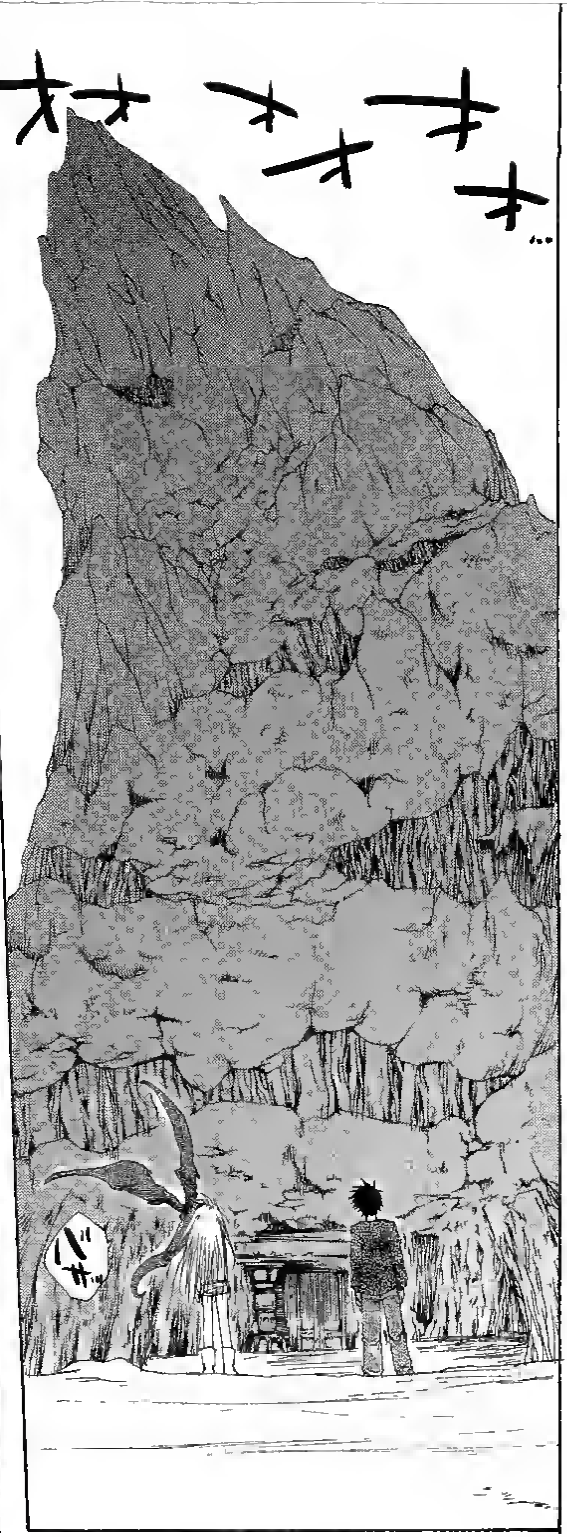
なんか
言ったか
ぼそ
くそ こき使い
やがってスレイディス
のやつ……

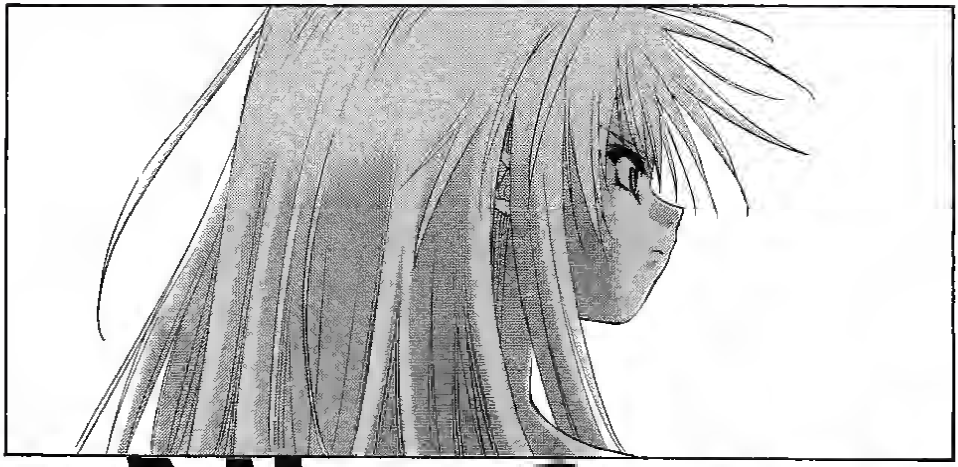

!!!
な なァんでも
ありませんよォオ!!
スレイディス様!?
じゃさっさと
行け
わたわた

奇ッ怪な塔だな～
塔？塔なのか？
バサ
ザッザッ


やっぱこの感覚…
ざわざわ
エルフィス…

大丈夫だ
だってルシアは
エルフィスより
強い


バサ



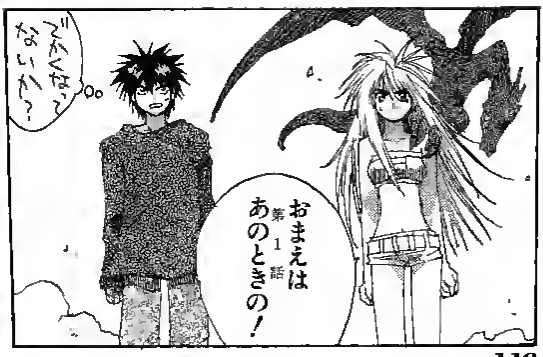
!!?
ハァッ

!!!
ズズズ…

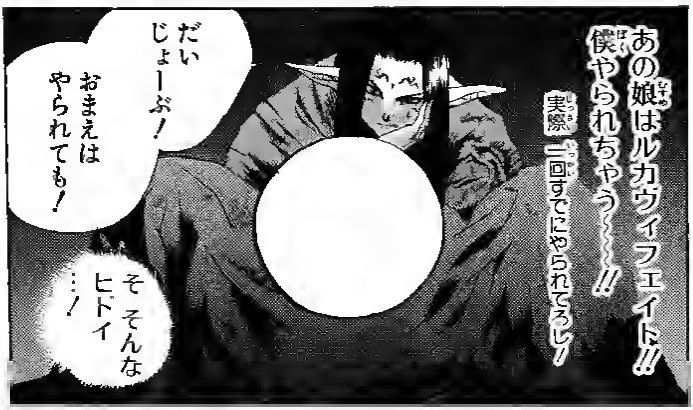
なんだ!?
いきなり
暗く…

この虫ケラめが
我が城に
何用だ？
クァアッ

？
あのときの…？
……//


ちがくねぇ
なぃた？
おまえは
あのときの！
第1話

スレイティス様!!
スレイティス様!!
やばいっス!!
やばいっス!!
あ?


あの娘はルカヴィフェイト!!
僕やられちゃう~~~!!
実際二回すでにやられてるし!
だいじょーぶ!
おまえはやられても!
そ そんなヒドイ…!

まあやられてもへーきなんだけどね…
今回はね…

ふふふ…なぜなら前回とはちがい
この幻影は直接本体とはつながっていないからたとえ倒されてもノーダメージなのだ!!
ふふ…このサーディス様に二度も出会うとはなんとも不運なサンドダストよ…

前回は油断していたが今回はそうはいかん…!!
グアメ
覚悟するんだな!!
腕が…!

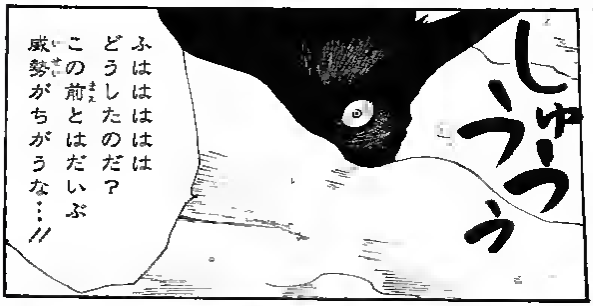
大丈夫…
ルカヴィフェイトの力は暴走しない…
自分の意志で…
炎の術で戦える!!

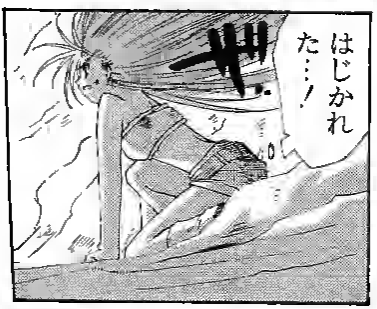
ナオト
ユーロはきっと
あの塔の中
私は一人でも
大丈夫！
わ わかった……！
おまえもナオトと
ふん あっちはこの私が
手をくだすまでもない……
中で私の邪気から
生まれた魔物たちに
喰われるがいい!!
では
行くぞ!!
ヤ
ヤ

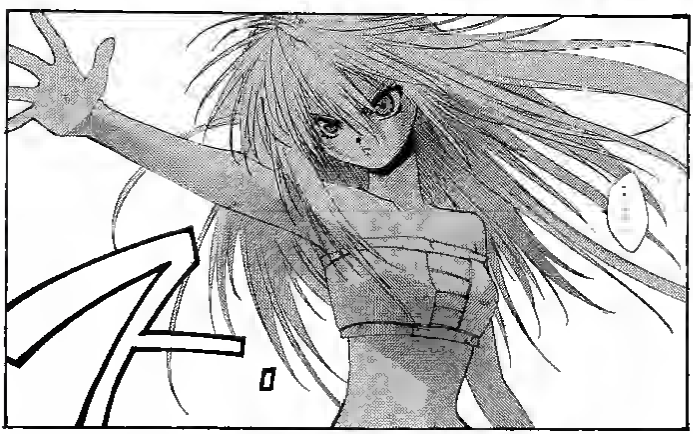
やっぱり
まだ…！
!!
ミナ！
まだ使いこなせない…!!

ウグッ…
くッ
くらえッ
!!
!
ファイヤーボール!!

ふん!!


しゃうう
ふはははは
どうしたのだ?
この前とはだいぶ
威勢がちがうな…!!


はじかれた…!



ハハハハ
来てる!
今だ なにか攻撃の呪文…!

……
……
どうしよう…
呪文おぼえてない

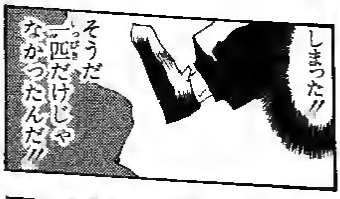
たんっ
なんとか牢から逃げ出したはいいけど…！

はあッ
たったったったっ
はあッ
はあッ
ガルルル…
！
ひ――ッ
ヘヤ

僕だって
逃げてばっかじゃ
ダメだ!!
きゅっ
つかまって
エルフィスなんかの
奴隷になるなんて
ごめんなんだから!!
魔物あいてに
きくのかな?…
汝の虜に
なりたき者
ここに来たれり!
古より
伝わる
酒瓶に
宿りし
精霊よ!
汝の妙なる
力によりて
我が敵を
妖幻の世界へ
いざなえ!!

ヤバ!

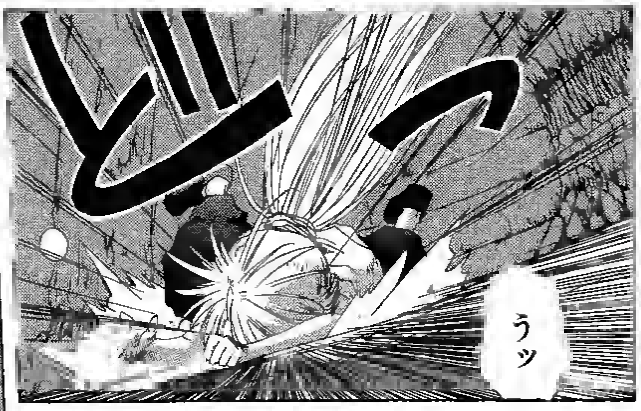
しゃっ
わッ


しまった!!
そうだ 一匹だけじゃなかったんだ!!

ぽん
やった 成功!
ガミュのときは"我が敵"がぬけてたんだよね

おちる!!

ヤラレ


ドン
うッ

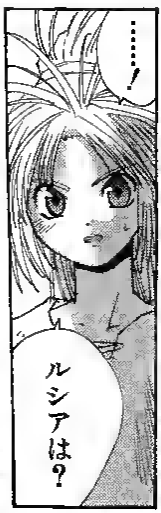
ぼっ
わっ
さっき手に入れた
この魔源石…
これを砕けば…
グルル…
！
もうダメ…
ぐす
僕にはこの石ひとつ
砕く力もないもの
……

ガウッ
ハサッ
キンッ
クァァッ
ギャンッ!?
ユーロ
こっち
だ!!
!?
走(はし)れ!!
キンッ
クァッ
さっさと
逃(に)げるぞ!!
ガシッ
ナ ナオト
なんで
ここに…

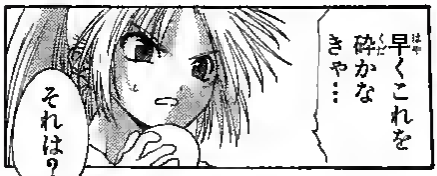
ガウウ
はあ
はあ
はあ
なッ
なんでナオトがここにいるんだよッ!?
悪かったナ俺で…
おまえを助けにきたんだよルシアと
な…
ぼ…
僕はおまえなんかに助けられたくない!!

そうさ！
もうちょっと…
もうちょっとがんばれば
一人でだって逃げられた
はず…！

エルフィスだって
やっつけられるんだ!!
それなのに…!!

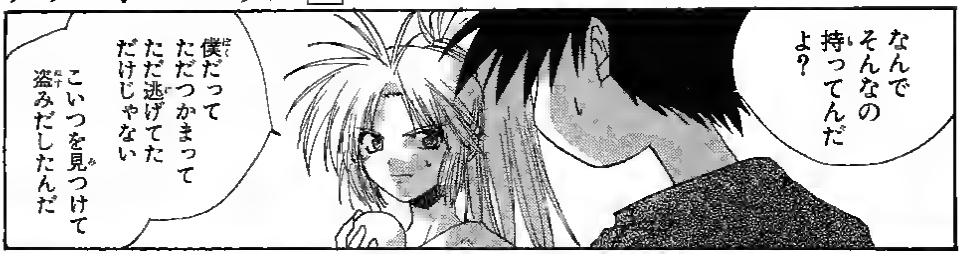


どういう
ことなんだ
…？
だってルシアは
大丈夫だって…

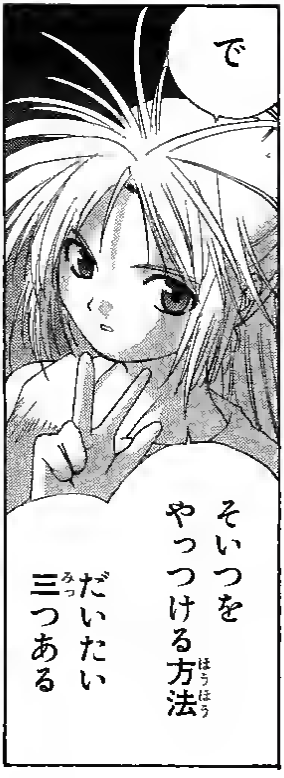

早くこれを
砕かな
きゃ…
それは？

魔源石…
その名のとおり
あのエルフィスの
魔力の源と
なっている石さ
これを
砕けば
あのエルフィス
（幻影）は
消える！

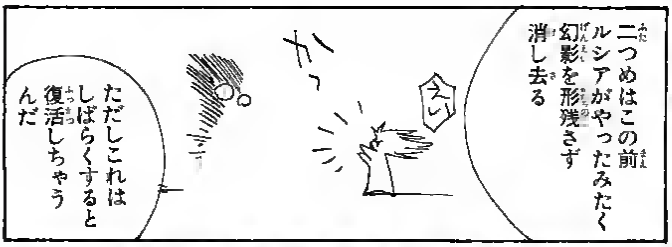
ルシアは
前とは
ちがうんだ!!
今まで使っていた
力を封印して
戦ってるんだ!!

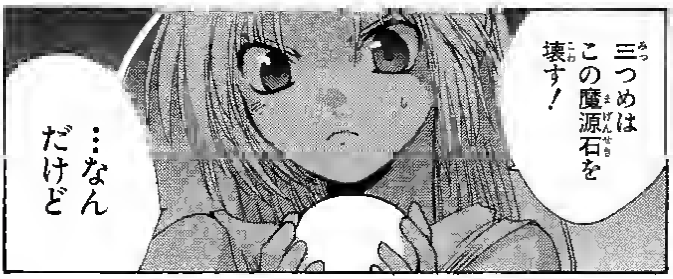

なんで
そんなの
持ってんだ
よ？
僕だって
ただつかまって
ただ逃げてた
だけじゃない
こいつを見つけて
盗みだしたんだ

僕をさらって
今ルシアと戦っている
エルフィスは本体
じゃなく幻影さ
前もそうだったけど
エルフィスは
本体で下に
降りてくる
事はめったに
ないんだ
ふーん
よくわからん
けど
前とちがうのは
今回は魔力の源と
なっているのが
本体じゃなく
この魔源石だってこと


で
そいつを
やっつける方法
だいたい
三つある

一つはオルゴス
上層部のどっかに
いる本体を
探し出して倒す！
どっ
まあこれは
ムリなんだ
けど…


二つめはこの前
ルシアがやったみたく
幻影を形残さず
消し去る
えい
ただしこれは
しばらくすると
復活しちゃう
んだ


三つめは
この魔源石を
壊す！
…なん
だけど

砕けないんだな
じゃあやっぱりルシアに頼るしか…
言っただろ今のルシアには無理なんだ！
ルカヴィフェイトの力を解放しないかぎり…
……
なあなんでルシアは…
知らない！おまえが…おまえが来てからだ！
ルシアは変わってしまった！おまえが変えちゃったんだ!!

なんでおまえみたいのがルシアの"特別"なんだッ!!
おまえ…ユーロ
もしかしてルシアのこと……
おまえ女の子じゃ
……
ぼうっ
うるさいッ
僕は……

気をつけるんだな…

？

だれだ

おまえだってしょせん本体は別の世界にあるただの幻影…

消し去ってももとの世界に帰るだけだ…

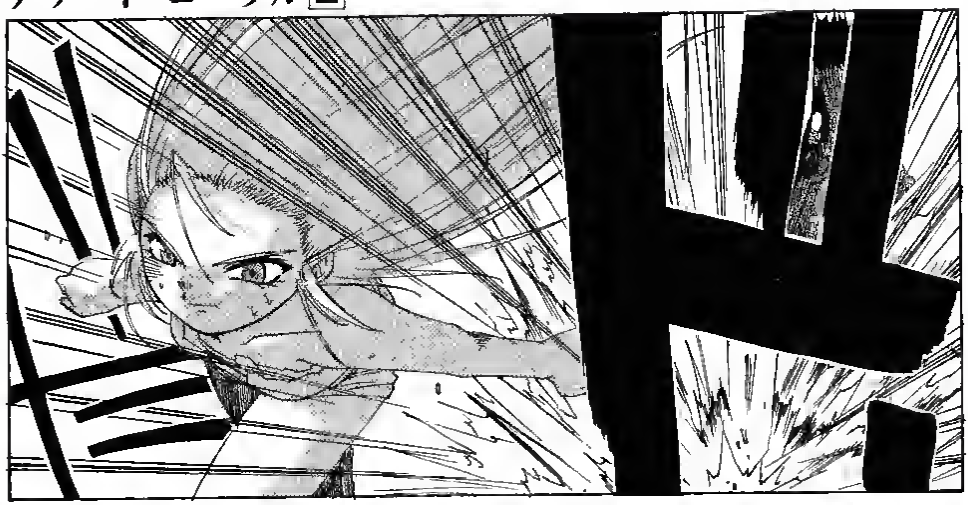
どんなに精神の強い者でもエルフィスの魔源石を長く持ってると邪気にやられるぞ

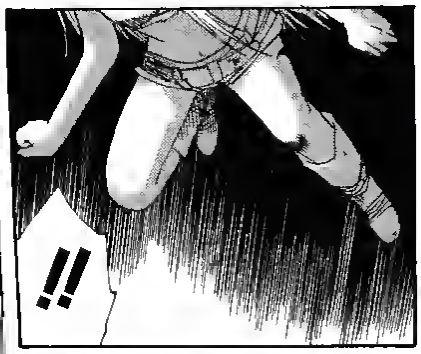
ちょ

ちょっと待てユーロ!!

オオ
オオ
サッ
サッ
く……
いったい
どうすれば
……!!
力を…
!
…力を
見せてみろ
……!
?
だれ…
…?
さあ 力を
解放して
みせてくれ!!

ルカヴィフェイトの
力を…!!
ドドドド
だめ!!

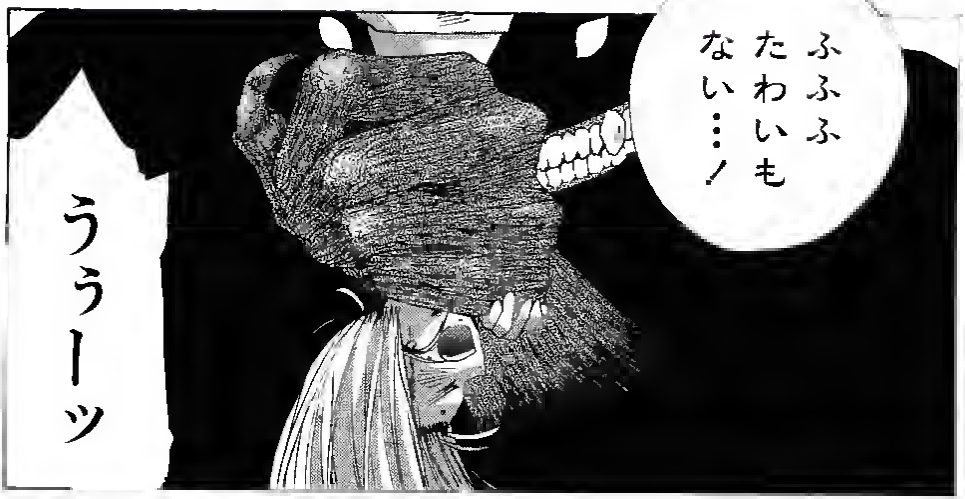



!!

影(かげ)…!!

ニゃ

つかまえましたよ――ッ
わアッ
くるん


ふふふ
たわいもない…！
ううーッ

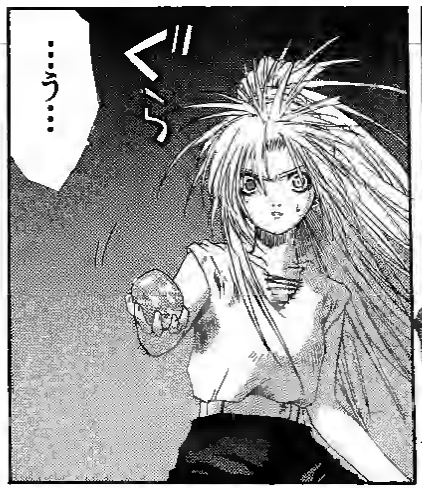
ふん
パン。
ルカヴィフェイトの力とはこんなものか…

# ＃10　覚醒（かくせい）

ナオト
僕が
おまえを
元の世界に
戻してやる…！

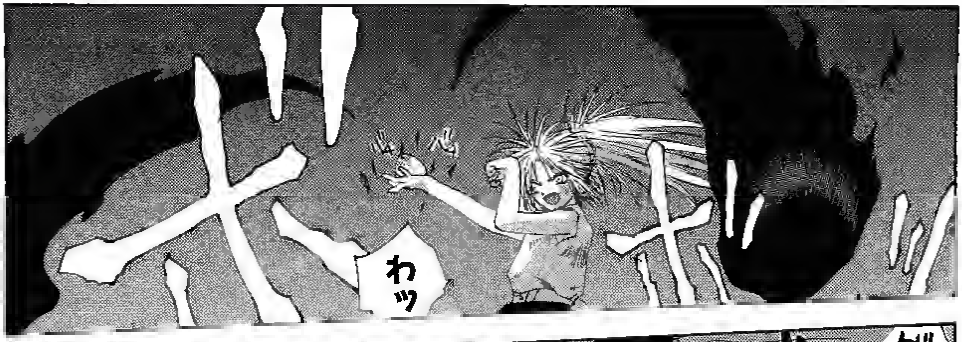
エルフィスの魔源石を
持つと その邪気に
とりつかれる…!!

僕がおまえを倒す！
この世界から消えてしまえ ナオト!!
ぼうっ!!


ぐっ!!
……う……

ユーロ おまえとりつかれてるぞ!!
早くその石を捨てろ!!

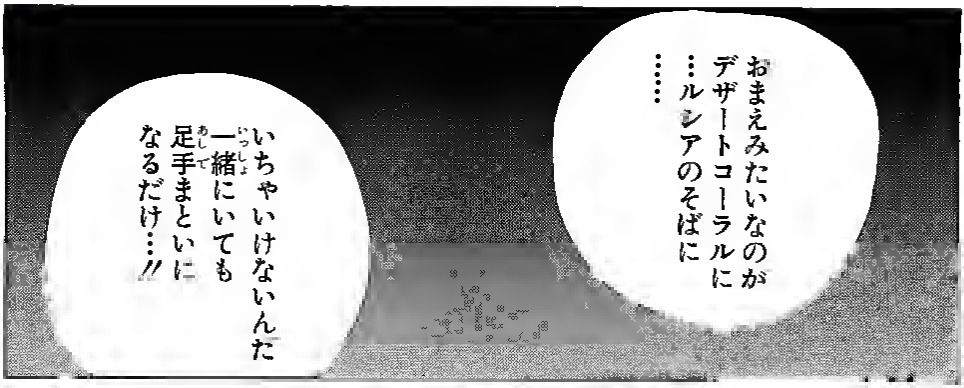
うるさいッ
ハナ!!


わッ

ぼ
ぼ
ぼ
!?

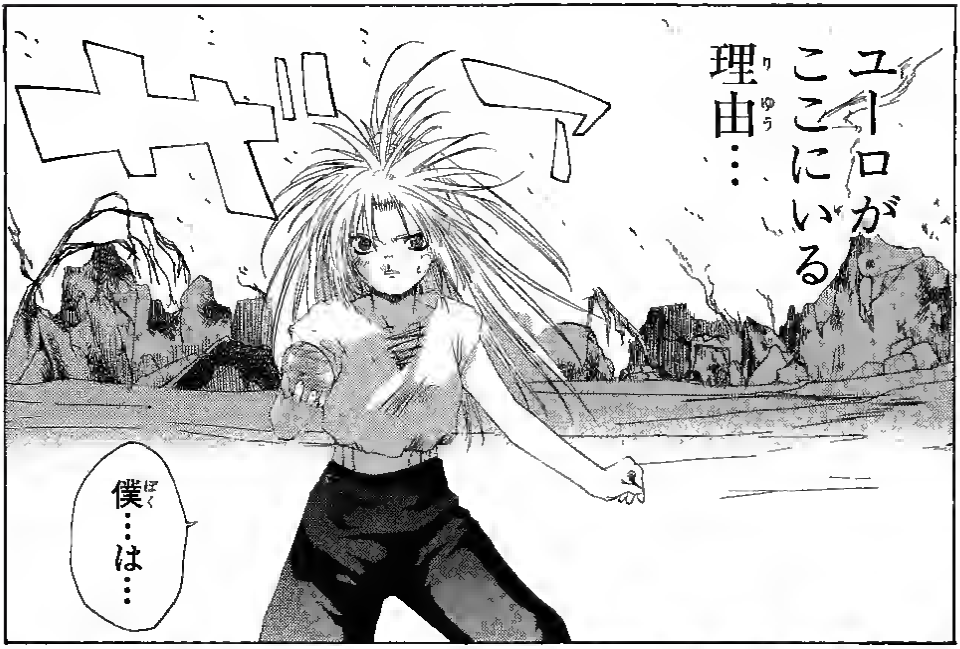
!!!

こっちの持ち技は…
くそ使えねー
ちっちゃい火球だけ…
どーやって戦う？


おまえみたいなのが
デザートコーラルに
…ルシアのそばに
……
いちゃいけないんだ
一緒にいても
足手まといに
なるだけ…!!

なんでここに
いるんだよッ!?
なんでここに
来たんだ!?
いちゃ
いけないんだ
おまえも僕も!!

ユーロ…？
俺がここにいる理由
ルシアが俺を呼んだから
ルシアが俺を必要としているから
……それはなぜ？
俺はちゃんとそれに応えているのか？
…何ができるわけでもない
俺の存在理由は…
全てのものには
それぞれの理由が
なんで…そんなこと
ユーロおまえこそなんで…
デザートコーラルに？

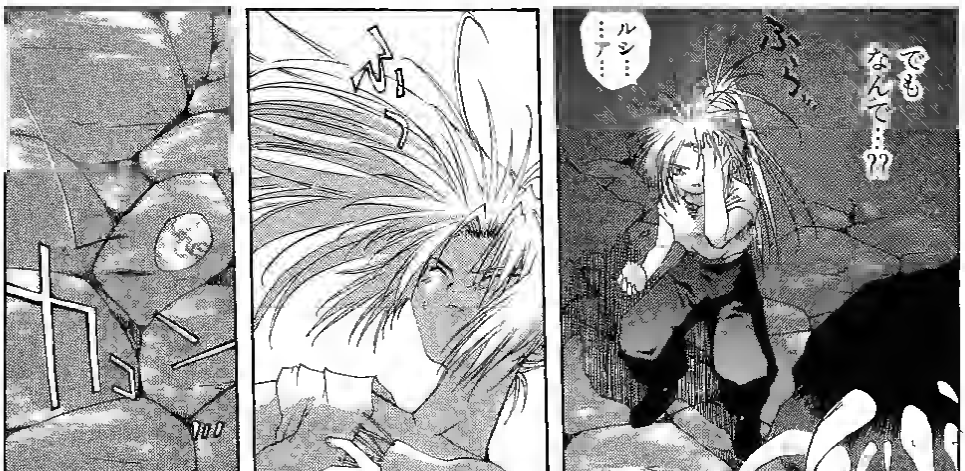

ユーロがここにいる理由…
僕…は…

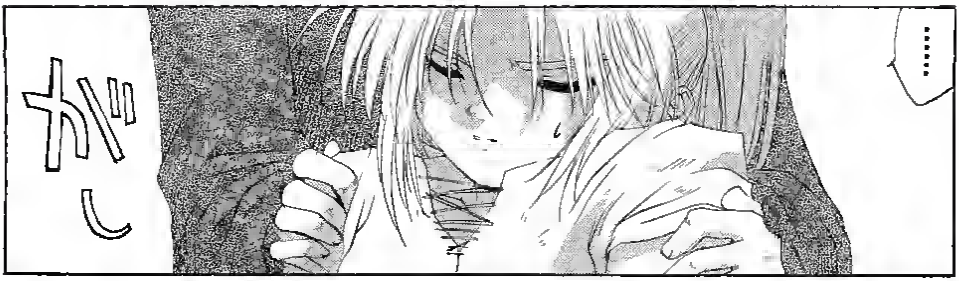
？
なんだ…？

たすけて！
たすけて！
だれか!!
!?
もう大丈夫

今日から君も
私たちの仲間だよ！

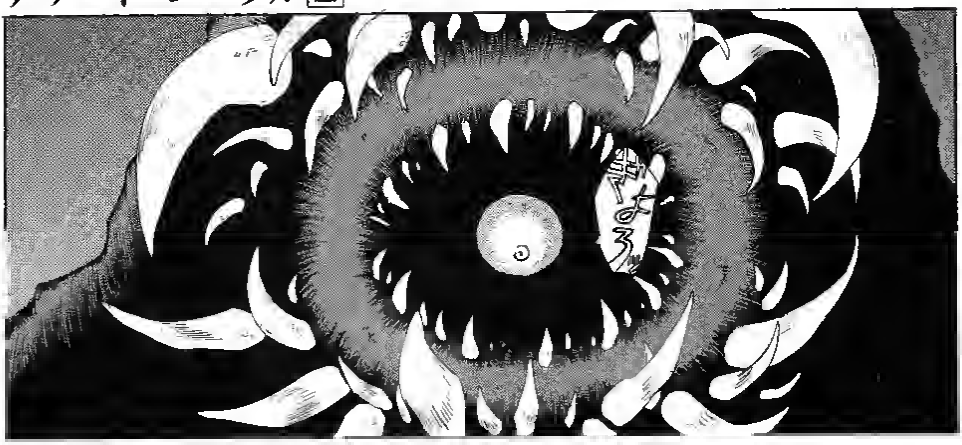
ルシア……！
これは…ユーロの記憶…？

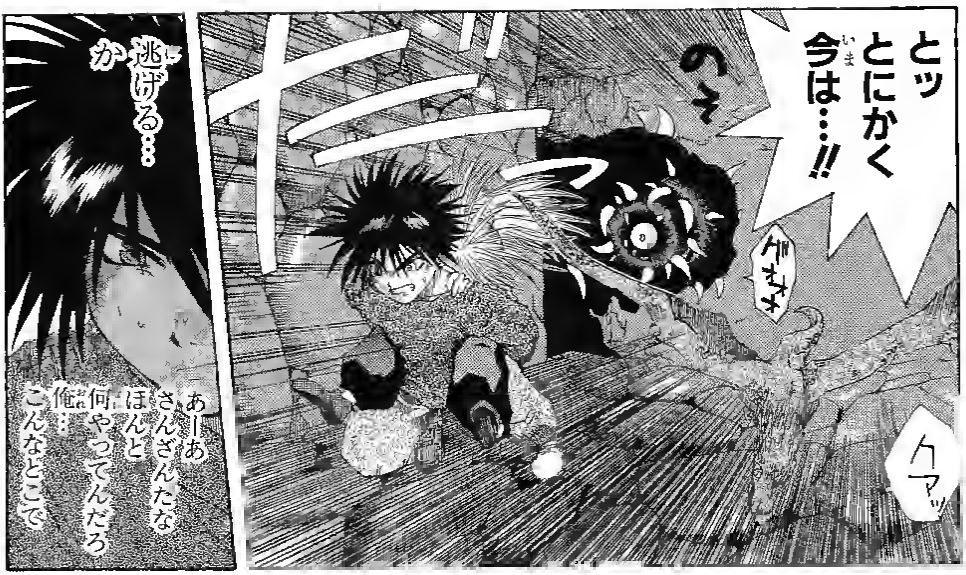

でもなんで…??
ふら…
ルシ…ア…
ドン!!
ドン


……
がし

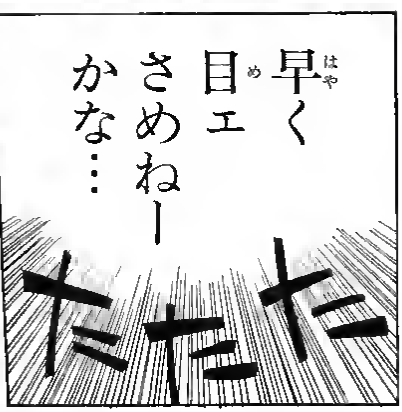
がっと
ハアー
悪いケド
やっぱ俺 おまえと
戦う気にはなれん

ハー
……
ニヤッ
！
魔源石…


ぎのろ


とッとにかく今は…!!
ゲオオ
ハアッ
逃げる…か
あーあさんざんたなほんと何やってんだろ俺…こんなとこで

う…ナオト…
ねてろ!
大丈夫だからなれてんだこーゆーの!


早く目ェさめねーかな…

な……
ガクッ
なんだ!?
何が起こった…!!??
ナオ!!!
スパッ!!
ハ……
!?
ナオト!?
激痛…!!
息…が…できな…!!
ハ……
…ア…ッ
ルシア…!!!

そうだ……

ズキン

は…あッ

ズキン

はアッ

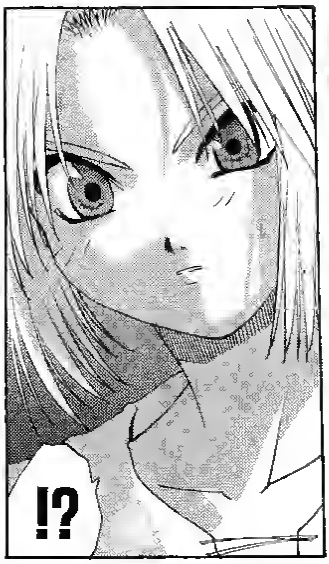
俺とルシアの感覚はつながってるんだった

この痛みはルシアの…

ズキン

ということはルシアがやられてる……!?

ルシア…!
大丈夫だって言っていたのに…!



ふつー
逆なんじゃ
ないか!?
ヒロインがピンチのとき
主人公がすごい力を
発揮するってのが
正しいんじゃないのか!?
くそ――!!

……

答えは簡単だ
少年
そんなことで
くたばるようなら
君はこの世界において
主人公にはなれない
ということさ
うおばっ
うるせー!!

なんなんだ！
さっきから
誰だ!?
頭ん中でしゃべってんのは――!!?
ボッ
ボッ
ボッ
……
……？
！
ナオト！
魔物が……！
囲まれてるよ僕たち!!
グルル…
ハハ…

それたけ
威勢がよければ
また大丈夫
だな…

ガルル

……

少年
おまえの力を
見せてみろ
そんな貧弱な
火球の術などでは
なく…

ウウウ…

おまえ自身の
力があるはず
だ…！

くそ　そんな事
言われたって…

俺の特殊能力といったら
現実世界とこのオルゴスを
行き来できるだけだ

そう
時空竜の
ように…！

聞け少年よ
竜とは神の化身
時空を司る神とは言わば
全知全能の神に等しい
望むのならば
その姿を克明に頭に
描くことかできるならば
それはもう おまえの
その手の中に…！
さあ！
何が
欲しい!!
今 この魔物たちと
戦うには…
そう！
ほりゃ

剣!!
剣がほしい!!

うおおおお

ぬふふ…!!

ぬはは
はは
はは
!!!

うう…

やりましたよ
スレイディス様!!

見事このサーディス!

さすが俺さま!

ルカヴィフェイトを生け捕りにいたしましたですよ!!

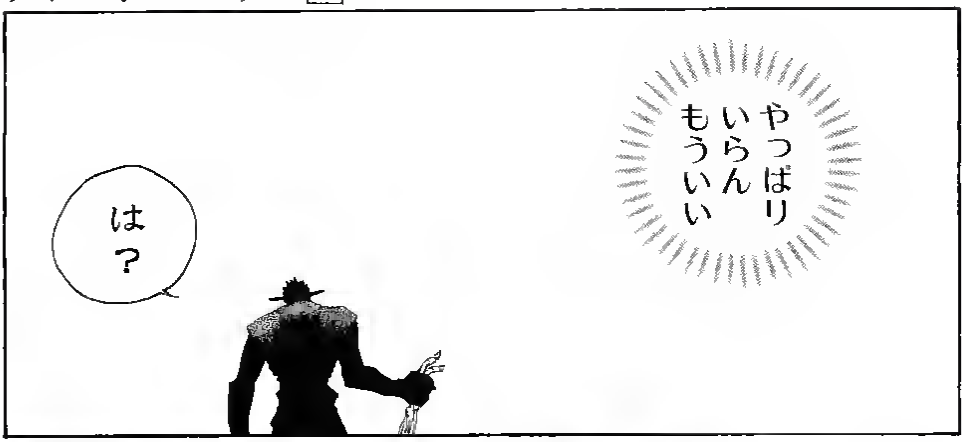
……

スレイディス
さま――
!!!

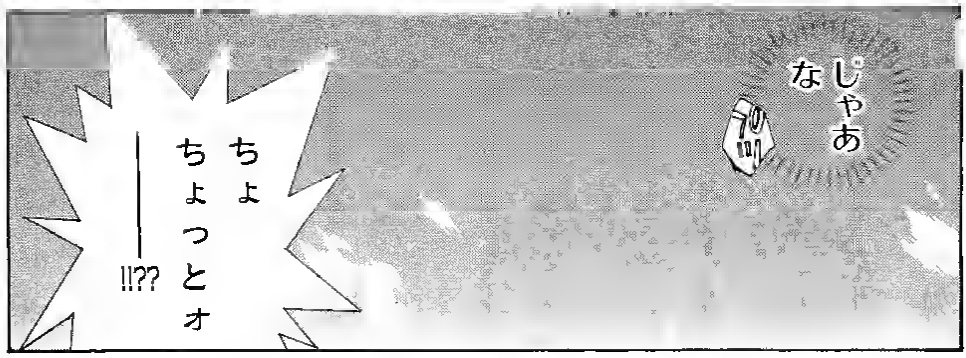
……

……

……?

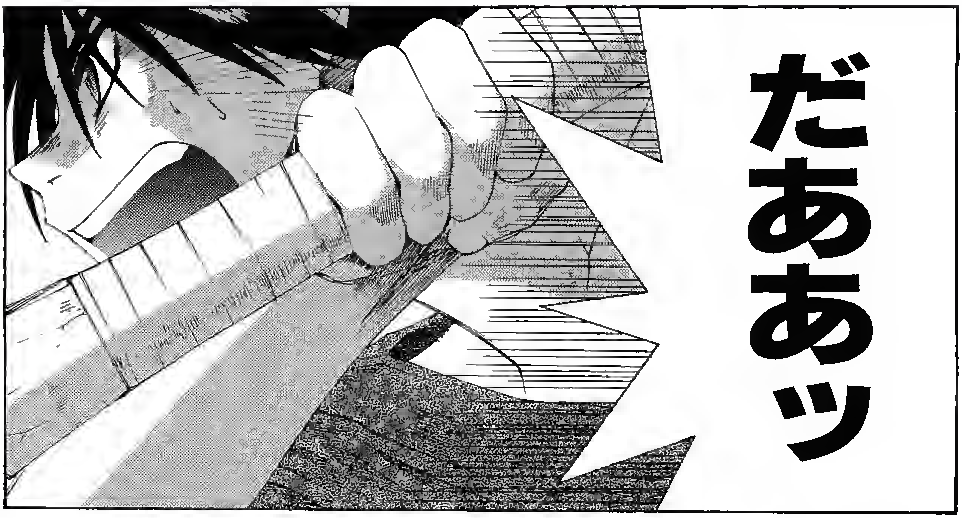

やっぱり
いらん
もういい
は？

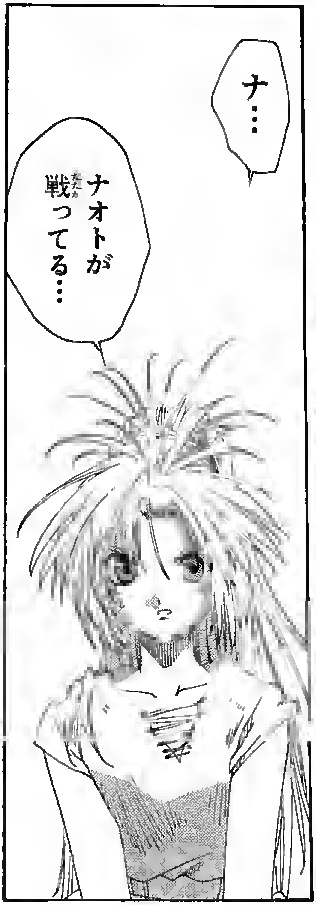
好きにしろ
と言っている
もうそっちには
興味ない
は――っ!!?
今は時空竜との
関わりのある
少年の方が
おもしろい


じゃあな
ちょ
ちょっとォ
――!!??

どっ
!
……
?
ばっ
くそ
スレイディスめ…
ギロ
ふん
まあいいでしょう
この娘を
殺せることに
なったのだから
よしとしましょう
……ッ
そーは
させる
かッ

カミュー！
レビ！
ヤバ

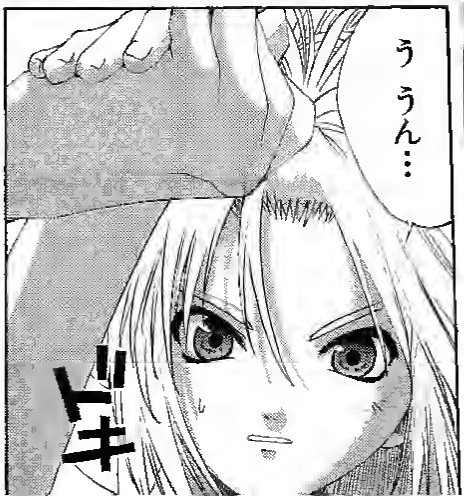

だあッ

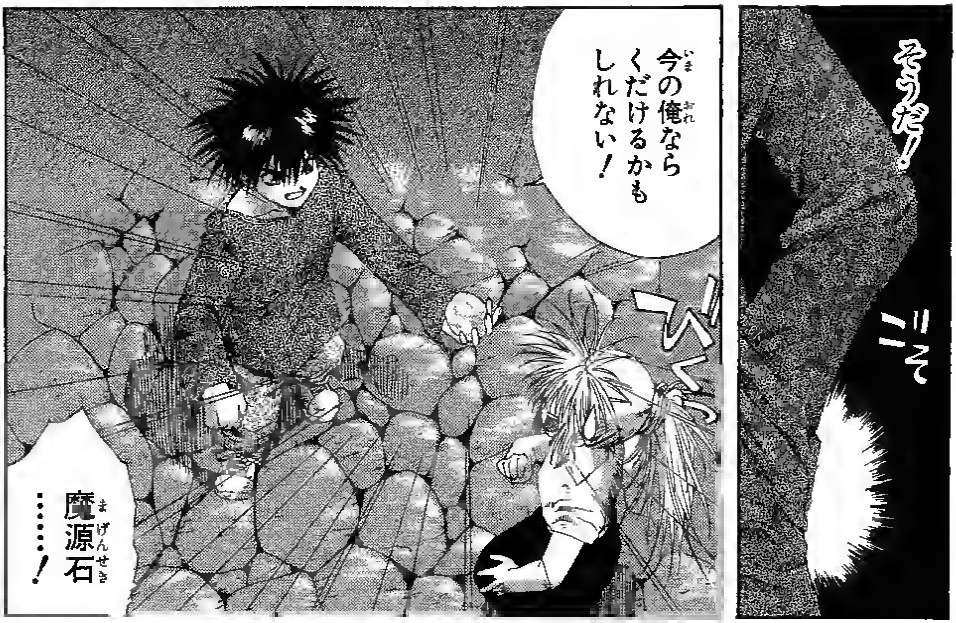

ナ…
ナオトが戦(たたか)ってる…

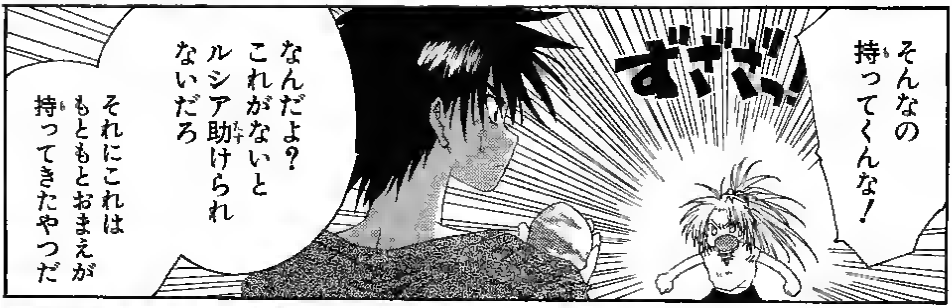
これでラスト！
キィィッ

は――っ
は――っ
は――っ
……
……

大丈夫だったかユーロ？
あ…
ほら手！


う うん…
ギュ


そうだ！
ニヤニヤ
今の俺ならくだけるかもしれない！
ぐっ
魔源石……！


そんなの持ってくんな！
ずざざ
なんだよ？これがないとルシア助けられないだろ
それにこれはもともとおまえが持ってきたやつだ

ナオトは持ってても へーきなのか？
魔源石…こいつをたたきつぶす!!
それには…

にっ
わかったんだ！
俺のちっちゃい火球の意味！
イメージしたものがそのままこの手の中にただなんとなくじゃダメなんだ
よりリアルにイメージするために…この炎を使う!!
そう
炎は全てのものを生み出す源…
やはりただの少年ではない…

出来
たッ
ハンマ
——!!
ず!!っ
!!

炎からものを
具現化する!!
これが俺の能力!!!
うおりゃ
あああ!!

ふはははは!!
サンドダストごときが何匹集まったところで同じことよ!!
ヒュ〜
まあここまでだな…
いいものを見せてもらった
ヒュ〜
はがッ!?
!?
ちょ ちょっと…!!
スレイディス様!?
あ〜
……
出番なかったわね…

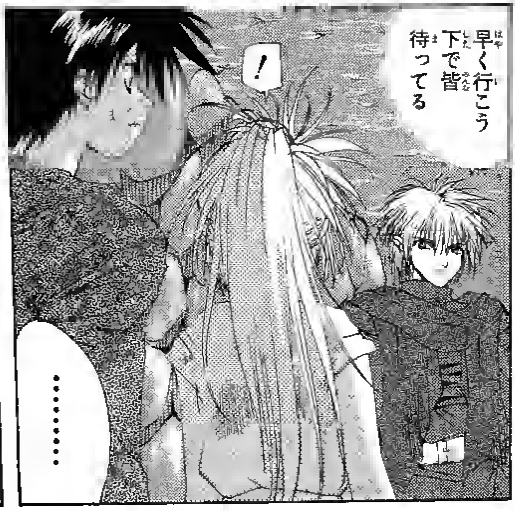
ナオト
ようやく…
目覚めたのか
あっ
イブシロン！

…とッ
とにかく
だ！
ぱ。ん！

う
うん…
でも
僕は＝＝
…

やったな
ユーロ！
俺たち
助かった
んだ！
ぼんっ
ハ
ハ
クアッ
わう
…

あ…あやまんなくちゃ…！
ナオトに！
ぱっ
あの…ッ
ナオト！
ごッごめんな
さい 僕の…ッ

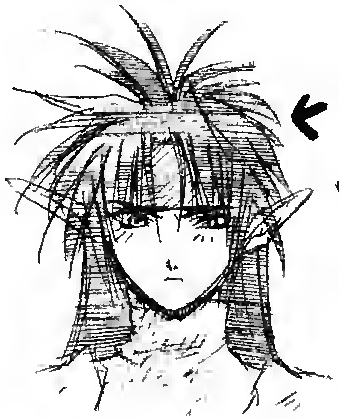

早く行こう
下で皆
待ってる
！
…

…

デザート・コーラル2　おわり

Desert
Owl

# デザゴル家の人々



長女 カヨ子
不良。

次女 ナオ子
比較的まじめ。
たいがよくいじめられる。

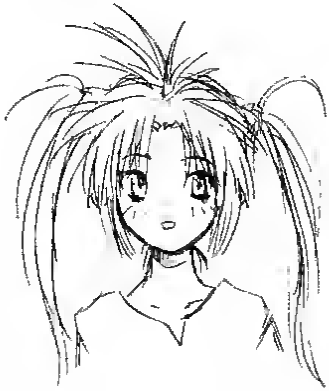
三女 ルシ子
わがまま娘。
デザゴル家の権力を
にぎる。

← 母

ごはんの時間までに
帰らないと怒るネコ耳ママ。

父→

家事、子育てに無関心な
ダメパパ。



← ペット

家族の中で一番立場の
弱い者を見極める。
他のみんなの前ではいいこ。

← 近所のサーティスさん。
ルナ子とペットをつけねらっている
変態。

BLADE COMICS

# デザート・コーラル ②

2003年 4 月10日初版発行

■著 者
村山 渉

©Wataru Murayama 2003
■発行人
保坂嘉弘

■発行所
株式会社マッグガーデン

〒101-8434 東京都千代田区一ツ橋2-6-8 トミービル3(スリー) 2F
(編集) TEL:03-3515-3872 FAX:03-3262-5557
(営業) TEL:03-3515-3871 FAX:03-3262-3436
企画プロデュース エニックス

■印刷所
株式会社廣済堂

■装 幀
VOLARE inc.

初出／月刊コミックブレイド02年9月号～12月号、03年1月号

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
但し古書店で購入したものはお取り替えできません。
定価は表紙カバーに表示してあります。

ISBN4-901926-38-1 C9979
Printed in japan

本作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等には一切関係ありません。

DESERT CORAL ② Wataru Murayama